岩田書院

地方史情報 097

2010年5月

鎌倉幕府守護の基礎的研究

伊藤 邦彦

鎌倉幕府の守護とは、要するに「近衛大(中)将である鎌倉殿が担当する国家守護＝「天下守護之職」の国別執行官」であった。この守護制度が、いつ如何なる状況の下で成立したか、守護はどのような権限と統治機構を有していたか、本書は守護に関するそうした基礎的事項について、歴史的事実に即して明らかにしようとした包括的研究である。幕府による守護支配こそ、幕府「東国」御家人層と、在地側の国御家人・国衙－在庁官人や、あるいは王朝国家・寺社勢力とが直接または間接的に、衝突し交流する場であり、中世国家の権力構造の特質が最もよく具現していると考えるからにほかならない。(中略)

建仁三年九月、比企能員が誅殺された直後、その「妻妾并二歳男子等」が「召預和田左衛門尉義盛」となり、「配安房国」されたという事実があり、私は1993年に発表した旧稿において義盛の立場に触れ「安房の守護(もしくはそれに相当する職務)」と見て、「これこそ義盛の守護在任を示す史料である」と述べた。実は、私は当時既に「東国守護」の一般的存在に疑問をいだきつつ、なお専論を発表するに至らず、このような曖昧な表現に終始するに止まっていた。此度、本書において、鎌倉幕府守護制度に関する包括的研究を試みるに当たって、通説を批判した熊谷の「東国」守護不設置説について、右に結論自体を支持しながら論拠に疑問を呈した経緯もあり、まず「東国守護」なるものの実体を検討することから考察に着手したい。

次いで、守護制度の成立について検討を加え、その歴史的経緯の一環として、必要最小限いわゆる「文治守護地頭」問題にも触れることになる。そして次に、専論が決して多いとは言い難い守護の職務(権限)及び管国統治機構に関する諸問題について私見を概括する。右の一連の考察を通して、頼朝挙兵以来の幕府権力の成立過程及びその後の動向の中で、守護制度が「与えられたもの」ではなく、「成るもの」、即ち幕府勢力の浸透に伴う事実的支配を踏まえた分析視角を常に意識することが必要となろう。この視点は、最近では鎌倉幕府の成立を、「朝廷からの公権授受」によるのでなく、「治承・寿永の「戦争」」自体の特質から説明しようとした川合康の方法とも通じるものがあろう。

（伊藤邦彦著『鎌倉幕府守護の基礎的研究』論考編、2010.4、小社刊「序」より）

地方史研究雑誌目次速報　飯澤文夫 編

＊本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは，発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆標茶町郷土館報告
〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12
℡015-487-2332
◇21　2009.8　A4　106p
北海道川上郡標茶町二股遺跡第３地点における第一次発掘調査報告概報　駒澤大学考古学研究室
郷土資源の発掘で標茶町を「美しい村」に—「日本で最も美しい村」連合への加盟を目ざして　横平　弘
たんちょう家族の観察記録(2)—10年間の給餌活動から　中本　民三
標茶町から発見されたアオシギ　飯島　一雄
標茶町アレキナイ　巨木「標茶のミズナラ」周辺の森林の自然　小荷田行男／辻ねむ／秋山恵美子／阿部信行
北海道東部標茶町軍馬山に自生するベニバナヤマシャクヤクの生態—町天然記念物ベニバナヤマシャクヤク調査結果　辻ねむ／他
オツネントンボとクロイトトンボの異種間連結　佐々木誠治
釧路市阿寒町「阿寒自然休養村」のトンボ目　佐々木誠治
北海道東部の双翅目—ハナアブ科(2)　飯島一雄／川原進

◆アイヌ語地名研究会会報
〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5　ハウスオブ恵庭105　渡辺隆方　℡0123-34-2130／〒062-0007札幌市豊平区美園七条１丁目3-1-507　高木崇世芝方　℡011-821-2831　年5000円
◇37　2009.10　B5　8p
平成21年度アイヌ語地名研究大会終わる
アイヌ語の表記について(1)　伊藤せいち
キロロの謎　渡辺　隆
平成21年度総会の開催／アイヌ語地名を歩く—山田秀三文庫の資料から—2009、札幌／「ざりがに探偵団」が奨励賞を受賞する／図書・会誌・会報・論文などの紹介

◆屯 田　北海道屯田倶楽部
〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
℡011-761-8014
◇46　2009.10　B5　85p　1000円
巻頭言　結束と組織力　後藤　良二
《和田屯田兵村特集　前編》
和田村のいわれ
はじめに　編　集　部
序　文　伊藤初太郎
和田兵村史
和田屯田兵村のあらまし
蘇る和田屯田兵の開拓魂
和田屯田兵記念館
歴史写真集「屯田兵」から和田兵村を偲ぶ
和田屯田兵村関係略年表
屯田の象徴・和田小学校—苦難の歴史に有終の美飾る　島　治雄
屯田兵村公有財産をめぐって(4)
新方式以降期に不祥事続発　河野　民雄
公有財産　三澤　了三
自転車でアッシー判官(松本十郎)の故郷を訪ねて　中神　哲二
黒田清隆　親戚筋の末裔　後藤　良二
私は屯田兵の何代目？　黒田　徹
兵村の今昔
歴史に恵まれた環境と文化　後藤　良二
屯田兵列伝(2)　熊本県出身新琴似屯田兵三世　倶楽部振興に情熱燃やす　北海道屯田兵倶楽部会長　後藤良二さん　若林　滋
会員の著書紹介　幕末維新えぞ地異聞—豪商・武士・異国人たちの雄飛　奥田静夫著／日本一周by 自転車　中神哲二著

◆文化情報　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目かでる2･7ビル９階　℡011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇315　2009.9　B4　4p
文化財に親しむ機会の提供事業
二年目を迎える文化財保護強調月間
道内文化財散歩事業に参加して　関川　修司
「文化情報」紙の充実について／常任理事六人を選出　第一回役員会
旧白洲邸　武相荘　舟山　廣治
産業遺産　みかさ炭鉱(3)
歴史を語る鉱業所長住宅　伊佐治知子
博物館物語（5）　苫小牧市博物館
苫小牧の自然と歴史を展望し、未来を考える拠点　武田　正哉
江差の歴史を物語る「関川家文書」について　宮原　浩
各団体の活動(5)「函館の歴史的風土を守る会」(歴風会)
北海道・東北史研究会
留萌研究会の活動報告　長澤　政之
文化行政マンの草鞋　大島　直行

◆北方民族博物館だより
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
℡0152-45-3888　hoppohm.org
◇74　2009.9　A4　6p
写真展　遊牧と鷹狩りの高原に生きる—西モンゴル・カザフ写真展／写真展関連事業「アサック」で遊ぼうギャラリートーク　中田　篤
第24回特別展　環北太平洋の文化Ⅳ　千島列島に生きる—アイヌと日露・交流の記憶　角　達之助
特別展関連講演会　千島・北海道交流史「道東・千島におけるアイヌの生活世界の変容—日本とロシアの登場がもたらしたもの」菊池勇夫氏／「千島列島へ人はいかに居住したか」手塚薫　角　達之助

◆八戸地域史　八戸歴史研究会
〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19　三浦忠司方　℡0178-38-7376　1982年創刊
◇46　2009.10　A5　56p　800円
口絵　刊本「自然真営道」初刷本
青森県の自由民権運動　橋本　正信
安藤昌易の思想形成過程における新知見　近藤　悦夫
八戸藩江戸留守居役研究序説　永嶺　信孝
みじか史　南部ニセ銭物語　酒井　久男
書評　『錦座ものがたり—西村喜助夢一代記』　藤田　俊雄

◆いわて文化財　岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内　℡019-661-9688
◇233　2009.9　B5　16p
《40周年記念号》
文化財愛護協会創立40周年を迎えて　金野　静一
座談会　文化芸術振興条例の指針
誰が何処でどう進めるか　瀬川司男／岩間隆　酒井彌生／合田武
座談会を傍聴して
新文化コモンズも射程に　船越　昭治
座談会　民俗芸能の興行化と伝承者たちの思い？　瀬川司男／中田功一　平野幸男／大月光康
座談会を傍聴して
伝承の根源を見失うな　南洞　頼賢
「文化財」再考　加藤　章
自主活動で守る町の文化財　桜井　芳彦
骨寺村荘園遺跡の今後　工藤　武
剣舞にみる「怨親平等」の思想　伊藤　雪枝
文化財愛護協会に望む
—今後も手を携えて　佐々木一成
愛護協年の歩み（上）
七、八月郷土史学習会
暑さものともせず熱心に

◆ホツマ　ホツマ研究会
〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通3-35-201
℡019-653-5554　年2000円
◇62　2009.9　A5　6p
鏑邦男先生の奥津城が完成す！
東京赤坂ホツマ研究会　宮崎和歌子
ホツマ旅行報告書　小川　蒼秀
初のホツマ旅に参加して　宍戸　寛治

◆市史せんだい　仙台市博物館
〒980-0862仙台市青葉区川内26
℡022-225-0814
www.city.sendai.jp/Section/Kyouiku/Museum/
◇19　2009.9　A5　128p　700円
《特集　政令指定都市20年あれこれ》
政令指定都市移行時における大区役所制の採用　鳴海　渉
あのときを振り返って
—石井市長から藤井市長へ　氏家　道也
地下鉄南北線の泉中央駅延伸前後の泉区の変容　針生　登
ごみ処理行政の20年間を振り返って　遠藤　守也
せんだいメディアテーク開館　奥山恵美子
国際交流で豊かな人のつながりを　池田　規子
仙台城跡国史跡指定時の石垣保存と艮櫓復元の問題　七海　雅人
戦後最大の冷害と米の自由化　渡邊　龍彦
仙台市国際知的産業特区　白川由利枝
ホントの、本のプロジェクト委員会、奔走記　一力　徳子
「広瀬川の清流を守る条例」制定後の広瀬川の変遷　日下　均
仙台市に見る地域情報と創作活動　浅井　宣夫
定禅寺ストリートジャズフェスティバルの立ち上げ　米竹　隆
「楽都仙台」への取り組み
二つの国際音楽コンクール　伊深　久男
もしもベガルタ仙台がなかったら…　竹鼻　純
新刊紹介　『通史編７　近代２』
女子教育者戸板関子の生涯と業績　佐藤和賀子
会津藩征討と京都詰仙台藩士　栗原伸一郎
仙台藩の高札場—根白石村肝入鷲尾家文書からの一考察　倉橋　真紀

史料紹介
伊達政宗文書・補遺（3）
入生田康欣明治三年公私雑志抄　相原　陽三

◆道鏡を守る会　道鏡を守る会
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
本田義幾方　℡0229-22-7364　年3000円
◇31　2009.9　B5　48p　1000円
2009道鏡禅師供養祭／2008道鏡講演会／2009弓削島探訪中止／おたより
小特集　法相宗と道鏡
弓削道鏡の法相宗について　工藤　忠道
道鏡禅師と法相宗との接点　久佐野　昭
日本霊異記に見る道鏡
—伊太智の悪行から　志田　諄一
東大寺略年表で理解できたこと　内山　正之
石橋の保坂姓に関わって　大浦　富子
映画『妖僧』—雷蔵と関わって　小川　欣子
「道鏡さん」と呼ばれる道祖神　船生　史郎
奈良田・奈良王・鳳凰山　小尾サダヨ
問はず語り　庶人と奸計　本田　義幾
うつぎ様の祭り（12月15日）に参加して
道鏡禅師と孝謙天皇のご縁で東北歴史の旅　森本　裕之
道鏡の雨乞いと高竈神社—石那田七郷から消された道鏡禅師　船生　史郎
筑紫観世音寺と天満宮を訪ねて　吉村　光右
下野薬師寺を訪ねて　富田　千春
地名「御前山」について　諸沢　信子
「道」の訓みについて　鈴木　暁子
道鏡の生きた時代　渡邊久志郎
小林昌三九前会長のご逝去を悼む　日野原　正
小林前会長の思い出　上野　静子
故小林昌三九先生の思い出　遠藤　孝夫
京の地から小林さんを憶う　田中　實之
田中澄子さんと　大塚泰二郎
宮原浄人さんの思い出　本田　義幾
田井友季子様を悼みます　本田　義幾

◆歴　史　東北史学会
〒980-0862仙台市青葉区川内　東北大学文学部　日本史研究室　℡022-217-6064
年4000円
www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/
◇113　2009.9　A5　138+44p　2100円（抄）
日中譲位考—君主位継承における皇太子の位置づけをめぐって　遠藤みどり
『陸奥話記』について　樋口　知志
開化期の芸能政策と興行取締りの実態—興行免許地の制限令をめぐって　橋本　今祐
明治32年文部省訓令第12号と外国ミッションの対応—米国長老会宣教師W・インブリーの活動を中心にして　中島　耕二
縄文時代における土器埋設遺構研究の視座—北上川流域における縄文時代中期中葉の事例をもとに　小原　一成
書　評
永井隆之・片岡耕平・渡邉俊編『日本中世のNATION　統合の契機とその構造』　小川　弘和
柳谷慶子著『近世の女性相続と介護』　堀田　幸義
高木正朗編著『一八・一九世紀の人口変動と地域・村・家族—歴史人口学の課題と方法』　澁谷　悠子

◆菅江真澄研究　菅江真澄研究会
〒011-0901秋田県秋田市寺内児桜1-5-55
古四王神社社務所内　℡018-845-0333

w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇68　2009.8　B5　16p
菅江真澄　若き日の旅—天明三年以前の旅を検証する　田口　昌樹
真澄短信
図書紹介
『秋田の山伏修験と密教寺院』
別冊　平成21年度菅江真澄研究総会の報告

◆鷹巣地方史研究　鷹巣地方史研究会
〒018-3302秋田県北秋田市栄字前綱101-2
河田正治方　℡0186-62-0242　2000円
◇65　2009.10　A4　77p　1000円
《50周年記念号》
発刊65号を祝して　津谷　永光
「鷹巣地方史研究50周年記念号」の発刊に寄せて　三澤　仁
研究会発足50周年を祝す　田口勝一郎
デァスコ吹ぎ喜ぶ、鷹巣のアンサン　山田　実
鷹巣地方史研究65号の発刊に当たり　岩谷　利男
事務局担当13年間の歩みから　河田　正治
記念講演　十和田火山の土石流と胡桃館遺跡　榎本　剛治
兵学者でもあった宮野尹賀(2)—佐々木兵一氏収集資料から新資料・ほか　千葉　克一
矢立峠をめぐる事件からみえてくるもの—大館西家と湯沢南家との確執や、峠における馬盗人のことなど　日景　健
北秋田の歴史と人物　武藤　拓自
歴史教室　二千町歩の大農場経営を目指した祖父・忠蔵について—16歳で第三代鷹巣小学校長に就任　中嶋　忠輝
現地研修
大館市史跡探訪　小塚　嘉七
探訪雑感　桜田　俊
随　想
鷹巣町初の女性町会議員　三國イサ　北嶋　洋子
細工師　嘉六　城口　健治
ししりこのむかしっこ　三澤　昭彦
渡辺喜恵子先生との想い出　小林　晋子
ひろば
角力取り徳右衛門と姪の大力・庄内女　桜田　俊
稲の伝播と秋田県稲作のあゆみ　小塚　嘉七
かくて北秋田市の歴史は始まった　澤田　昌治
全国植樹祭記録　豊村　政吉
太平町の守護神　太平山三吉神社考　佐藤　國治
65号までの歩み　総目次(60号～)

◆米沢史学　米沢史学会
〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1
山形県立米沢女子短期大学日本史学科内
℡0238-22-7330
◇25　2009.10　B5　172p
講演　古代奥羽の蝦夷支配　熊谷　公男
山形県白鷹町深山の近世窯業の研究—蟹沢遺跡出土遺物の検討から　高橋　拓
育英事業と人材観—最上育英会と旧藩意識・士族意識・実業との関係から　布施　賢治
福岡県の名主座について　薗部　寿樹
旧山形藩士族が設立した霞城育英会について—近代山形県に旧藩を母体として設立された育英事業の検討　布施　賢治

兵庫県西部における名主座について　薗部　寿樹
書評・新刊紹介
五味文彦・小野正敏・萩原三雄編『宴の中世』　橋本　素子
矢田俊文編『直江兼続』　小林　文雄
史料紹介
庄内藩大工棟梁小林家文書(7)　吉田　歓
2008年度卒業研究要旨

◆福島県史料情報　㈶福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54　℡024-534-9193　www.history-archives.fks.ed.jp
◇25　2009.10　A4　4p
檜枝岐村絵図について(2)　山内　幹夫
松川と『定勝公御年譜』　渡邉　智裕
塙の鍛冶(3)　小暮　伸之
「功アル」鳥・獣　今野　徹
高瀬の大木(ケヤキ)と『大樹銘木調査書』　渡邉　智裕
地域史研究会活動情報
清水地区郷土史研究会　須田　鐵二

関　東

◆近代史料研究　日本近代史研究会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学歴史人類学系　中野目研究室内
℡029-853-4066　2001年創刊
◇9　2009.10　A5　86p
内大臣府文書(明治天皇御手許書類)に関する基礎的研究—深谷博治旧蔵文書を手がかりとして　真辺　将之
茅原華山の「戦後第一声」—『東日本新聞』の言説を中心に　水谷　悟
安倍能成関係史料の全体像(上)—愛媛県生涯学習センター所蔵史料を中心として　青木　一平
鈴木家所蔵「鈴木虎雄関係史料」の概要—附・「陸翁書簡」(鈴木虎雄宛陸羯南書簡等)翻刻(稿)　中野目　徹

◆史 境　歴史人類学会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院人文社会科学研究科内
℡029-853-4403
◇59　2009.9　A5　124p　2000円(抄)
明治政府による北海道農業開拓の構想—黒田清隆とホーレス・ケプロンに注目して　中西僚太郎
織部司臨時所と内蔵寮—平安初期における手工業生産宮司の再編　堀部　猛
和歌森太郎の伝承論における社会規範概念　柏木　亨介
書評　大石学編『近世公文書論—公文書システムの形成と発展』中野目　徹

◆史 談　安蘇史談会
〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
大高八三郎方　℡0283-24-3232　年2000円
◇25　2009.9　A4　131p
『下野国誌』所載「三毳山之図」をめぐって　川田　春樹
市場交換と贈与を考える　関野吉之助
板碑が語る佐野市の中世　京谷　博次
大永四年銘の“鰐口”　小島　唯一
我が家の分家が札幌に居た—子孫70年ぶりの里帰り　青山　守
研修旅行に参加して　篠崎　澄子
梁田御厨の郷社『御厨神社社誌』を拝読しての雑感　黒田　哲哉
佐野常民と唐澤山神社創建への道程(前)　大高八三郎
史料紹介　佐野市高砂町会記録“雑誌”を読む(4)　京谷　博次

平成20年度「安蘇史談会公開講座」
より　小山地方における藤原秀
郷の後裔たち—野木宮合戦と小
山氏　大島　満雄
民俗史話　足利怨霊地誌—われら
この地に祟りをなさん　中島　太郎
平成20年度安蘇史談会日記

◆**歴文だより**　栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内　TEL028-634-1313
◇**73**　2009.10　A4　4p
《栃木・知の周辺を探る—大会報告》
松本一夫氏報告「近世後期足利学
校の図書館的機能について」を
聞いて　菊地　卓
久野俊彦氏報告「郷土誌と伝説集
の形成」を聞いて　大谷津忠一
直井康幸氏報告「大正～昭和初期
における栃木県下中等学校入学
をめぐる状況」を聞いて　鈴木　健一
上野修一氏報告「郷土教育に果た
した考古学の役割」を聞いて　大澤　伸啓
古文書・古典籍を読む(12)　鳥居
忠挙「若年寄就任祝御歌」　中野　正人
新刊紹介　眞保昌弘著『侍塚古墳
と那須国造碑　下野の前方後円
墳と古代石碑』　鏑木　理広

◆**群馬文化**　群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801前橋市文京町3-27-26　群馬県立
文書館内　TEL027-221-2346　年4000円
members.jcom.home.ne.jp/yctanaka/
◇**300**　2009.10　A5　106p
《特集　『群馬文化』三百号を読む》
『群馬文化』第300号の発刊にあた
って　石原　征明
『群馬文化』第300号を祝して
地方史研究協議会常任委員会
『群馬文化』第300号記念によせて
埼玉県地方史研究会　吉本富男
上信を結ぶ先学の系譜　信濃史学会　山浦寿
『群馬文化』第300号発刊を祝して
栃木県歴史文化研究会　千田孝明
『群馬文化』第300号発刊を祝して
新潟史学会　芳井研一
三百号を祝す
群馬歴史民俗研究会　板橋春夫
『群馬文化』三百号を祝して
群馬歴史散歩の会　井田信夫
これからも　ずっと
桐生文化史談会　大里仁一
総　説　丑木　幸男
考古学　右島　和夫
古　代　中村　光一
中　世　久保田順一／簗瀬大輔
近　世　落合延孝／岡田昭二／関口荘右
近代現代　丑木幸男／福田博美／江崎哲史
民　俗　永島　政彦
地　理　町田　悟

◆**群馬歴史散歩**　群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785　年4500円
◇**211**　2009.10　A5　64p
《特集　世界遺産へ》
群馬県から世界遺産を　松浦　利隆
開化錦絵「富岡製糸場」はどのよ
うにしてつくられたか　小野瀬和男
重要伝統的建造物保存地区赤岩の
歩き方　古澤　勝幸
世界遺産、誰が決めるのか　石橋　幸子
世界遺産は蚕糸業の救世主となる
か　土屋　真志
小渕しちものがたり(1)
小渕しちの生きた時代　古屋　祥子

高山彦九郎日記による歴史散歩
(19)『乙未の春旅』(8)　正田　喜久
激動昭和に生きた人々(8)
—東宮鐵男と河本大作　東宮　春生
日帰り温泉ぶらり旅(12)　富士見
温泉「見晴らしの湯」ふれあい
館の巻　田口　正美
絵手紙で歩く　上毛かるた(34)　小林　生子
ベルリンの壁　崩壊—ライプチヒ
のニコライ教会から　山崎　正

◆**武尊通信**　群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
◇**119**　2009.9　B5　4p
村方文書にみる元禄上野国絵図の
作製過程　中島　潔
第29回講演会記録(要旨)／2009
年度総会の記録

◆**埼玉史談**　埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5　大圖口承方
TEL049-281-4983　年4000円
◇**299**（56-3）2009.10　A5　62p
長徳寺第十二世麟甫等徐　沼口　信一
近世からの関東々南城の石工たち
中村　守
武州秩父雑話(6)—秩父氏(1)　大墅　鴻風
河越城代大道寺氏の研究(2)
—史料編年でみるその実像　大圖　口承
新出春秋庵碩布関係俳諧資料　内野　勝裕
自分史抄録—私の東京と古社名刹
大熊　晋一
春日部氏と村田氏について　岩井　茂
資料紹介
飛脚　市ヶ谷から四方寺へ　佐藤　繁
歴史関連ニュース
第605回　小川町見学
第606回　研究発表会

◆**日本の石仏**
日本石仏協会（発売：青娥書房）
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512　年8000円
www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
◇**131**　2009.9　A5　80p　2100円
巻頭随想　記録は癒し—記録に三
つの愉しみ　坂口　和子
《特集　虚空蔵菩薩》
虚空蔵は無尽蔵
—日本における多様な展開　佐野　賢治
烽と虚空蔵菩薩
—武田氏の烽燧制と民間信仰　岡村　知彦
里山の虚空蔵菩薩　田中　英雄
山形県の虚空蔵信仰—中南部に造
立されている石塔を中心に　加藤　和徳
愛愍山阿弥陀寺の虚空蔵菩薩石仏
尾田　武雄
四国の虚空蔵菩薩石仏　岡村　庄造
「石」を知る(21)　小松　光衛
石燈籠入門(41)　嘉津山　清
石仏写真と私(21)　杉本　康希
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
関口渉／水野英世
会員の広場　筒井隆義／森正彦／
石川博司／井戸寛／中森勝之
石仏交流
海外石仏研修報告　杭州・桂州の
石窟と璃江下りを楽しむ旅　長島　誠
第31回石仏公開講座を終えて

◆**ぶい＆ぶい 無為無為**　日本史史料研究会
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860　武蔵
野学院大学国際コミュニケーション学部
神野潔研究室　TEL04-2954-6131　2008年創
刊　www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇**10**　2009.9　A5　26p
近代群馬県における新田氏研究

—「正木文書」公開の動き　伊藤　瑠美
戦国期における矢野荘と守護代層
渡邊　大門

◆富士山遺文拾遺　まるはとだより発行所
〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
岡田博方　℡048-281-4118
◇42　2009.9　B5　8p
古今東西宝語(42)　ひたすら泣いて
大島有隣先生御説経開扉(39)
『心学道歌集』(2)　岡田　博
有縁機縁録　新刊紹介　『誰も見
たことのないときめきの富士』
／すその路第５号　監修竹谷靱
負『富士山周辺の災害と対応』
—地域の古文書を通して
◇43　2009.10　B5　8p
古今東西宝語(43)
腰をぬかしてたまげていては
大島有隣先生御説経開扉(40)
『心学道歌集』(3)　岡田　博
有縁機縁録　新刊紹介　大西康之
論考「社会教育」と「生涯学習」
の違いと融合／石門心学会平成
21年度第一回輔　久保千一講演
レジュメ「心と教育」—柏木義
円を中心に
◇44　2009.11　B5　8p
古今東西宝語(44)
道路が暮らしを食い尽す
大島有隣先生御説経開扉(41)
『心学道歌集』(4)　岡田　博
有縁機縁録　新刊紹介　竹谷靱負
著　富士塚考—江戸高田富士築
造の謎を解く／鳩ヶ谷市民短歌
会2009年　年刊短歌集(第18集)

◆紙魚之友　房総史料調査会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室
◇25　2009.10　B5　10p
調査報告
君津市糠田山口隆弘家文書　立野　晃
いすみ市岬町押日中村啓之家文
書　村　和明
房総史料調査会活動報告

◆利根川文化研究　利根川文化研究会
〒263-0021千葉市稲毛区轟町4-3-30　千葉
経済大学　菅根研究室気付　℡043-253-
9111　www7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/
◇33　2009.8　B5　88p
新河岸川、その歴史的景観の変貌
と教育的課題　松尾　鉄城
下総境の名称起源と記述のエチカ
青木　敏雄
史料紹介
入間川筋釘無河岸史料　黒須　茂
船橋随庵の履歴書　吉見嘉男／川名登
流域に生きる人々
幕府代官・行方隼人について　川名　登
大久保七郎左エ門が富田氏へ砲
術指南　佐野　俊正
干潟耕地に生涯をかけた岩瀬為
吉　池田　宏樹
新刊紹介
池田宏樹著『近世日本の大地主
形成研究』　實形　裕介
西海賢二著『念仏行者と地域社
会—民衆のなかの徳本上人』菅根　幸裕
コラム史料探訪　江戸城御用炭の
水陸輸送について　丹治　健蔵

◆房　総　川城文庫・藩政史研究会
〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7
℡0475-42-3034
◇127　2009.10　B5　8p
地域史の古文書　里えと萬五郎の
欠落　明和五年子九月の血生臭
い事件　川城　昭一

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方　℡04-7196-3375　年3000円
◇103　2009.10　B5　8p
石造物を読む(1)
香取市谷中の光明真言塔　米谷　博
旧山田町石仏調査より(3)　至徳
銘宝篋印塔図像板碑の調査　早川　正司
旧山田町の石仏調査に参加して　小西　則子
箱根石仏見学会
箱根石仏群と旧街道石畳
中山正義さんを悼む　沖本　博
会員の動き

◆足立区立郷土博物館だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
℡03-3620-9393
◇57　2009.10　A4　4p
特別展「メイキング博物館—常設
展示の舞台裏—」／特別展関連
イベント／郷土芸能鑑賞会／体
験学習「似顔絵凧づくり」／冬
季区民教養講座／初釜と郷土芸
能の鑑賞／見学会じんがんなわ
まつり／新収蔵資料展／博物館
の映画会／企画展「大工と鳶—
その技と文化—」

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇499　2009.9　A4　4p
代官　佐々井半十郎について(4)
佐々井半十郎と近藤勇(前)　あさくらゆう
都市近郊の農産物を追う(21)
水セリ(5)　萩原ちとせ
平成21年度特別展　メイキング博
物館—常設展示の舞台裏
◇500　2009.10　A4　4p
特集　足立区最初の博物館　郷土
資料室の開設と本誌第１号　編　集　部
500号ってどのくらいの長さ？
足立史談五百号に接して　安藤　義雄
研究成果のご紹介
郷土研究者と資料(1)
郷土史の先人たちと博物館の四大
機能　編　集　部
都市近郊の農産物を追う(22)
しめ飾り(1)　萩原ちとせ
◇501　2009.11　A4　4p
牛田について(1)
駅名に残る牛田や盆の月　平野宗一郎
代官　佐々井半十郎について(5)
佐々井半十郎と近藤勇(後)　あさくらゆう
都市近郊の農産物を追う(23)
しめ飾り(2)　萩原ちとせ

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇258　2009.9　A4　4p
平成21年度　活況を呈した第三回
区民研究発表会盛会裡に終了
コラム教育史料　終戦直後の日本
の教育(93)　新教育指針　第五
章民主主義の徹底　堀川　和夫
鴎外スポット　森鴎外と医学留学
生たちの交流(1)　山崎　光夫
文化財の保存と保護(13)

伊賀焼の芭蕉像　矢沢幸一朗
足立区の登録文化財を観る　総持
寺山門一棟／出置新田事／永野
家文書旧考録／夜念仏供養阿弥
陀一尊来迎像板碑　一基　編　集　部
◇259　2009.10　A4　4p
コラム教育史料　終戦直後の日本
の教育(94)　新教育指針　第五
章民主主義の徹底　堀川　和夫
鴎外スポット　森鴎外と医学留学
生たちの交流(2)　山崎　光夫
9月探訪報告　「井の頭」を歩く
◇260　2009.11　A4　4p
橋本律蔵墓に説明板設置　千住・
慈眼寺　10月31日　安藤昌益と
千住宿の関係を調べる会
コラム教育史料　終戦直後の日本
の教育(95)　新教育指針　第五
章民主主義の徹底　堀川　和夫
日本各地の「舎人」という地名
(上)　竹内　秀夫
小田原周辺の史跡をめぐる
10月はバス探訪報告
文化財の保存と保護(14)
千住宿の模型はいま…　矢沢幸一朗

◆あるむぜお
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32　℡042-368-7921　www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇89　2009.9　A4　8p
シリーズ世界天文年（2）　2009年7月22日
郷土の森博物館での日食　本間　隆幸
展示会案内　企画展　火の用心―
江戸時代の火事と対策
NOTE　1887年8月19日の皆既日食
本間　隆幸
坂本長利「土佐源氏」資料の世界
(2)　1100回以上の出前芝居　佐藤　智敬
最近の発掘調査　番外編　復元整
備完了―国史跡武蔵府中熊野神
社古墳　塚原　二郎
小説　探鳥物語(2)
都市に暗躍する者　中村　武史

◆板橋史談　板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
℡03-5398-2682
◇254　2009.9　A5　39p
「砂払」を道標に(弐)刻と金　森田　千春
板橋区の廃寺について
―板橋区公文書館史料拾遺　大井　眸
一枚の写真から(1)
おむつの干してある風景　泉　貞代
もう一つの「寅さん記念館」　若林　清
史跡を訪ねて(12)　猪瀬　尚志
写真ニュース(14)「いたばし花火
大会」をめぐって　井上　富夫
回顧・太平洋戦争と私　星野　紀昭
ひろば
バーリントン市関係者への鎧着
付けに参加して　中村　正宏
『農具便利論』著者　大蔵永常　増田　妙子

◆奥武蔵　奥武蔵研究会
〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
加藤恒彦方
◇369　2009.9　B5　21p
今年の夏山は如何でした？　浦野　要
比企一族　比企尼　染谷　鷹治
奥武蔵、秩父の獅子舞(31)
―樋口流、久長の舞　関口　洋介
鈴木はつ乃さんの奥武蔵便り　奥
武蔵を愛した辻野広司さんのこ
となど　鈴木はつ乃
畑井の梵天上げ　町田　尚夫

伊豆ヶ岳　点の記　木本　和男
出羽三山の花の思い出　服部　英昭
山行報告
◇370　2009.11　B5　54p
《創立60周年記念号》
早や十年、永久に歩もう　浦野　要
登山家板倉登喜子女史を思ひて　大野　亮雄
八高線今昔　新井　芳雄
60年という歳月(思いつくまま)　植村　三郎
板倉登喜子さんと酒の縁　高田　眞哉
会いたい思い出の方達　秋澤　英雄
創立40(50)周年記念出版企画『奥
武蔵』(仮題)頓挫始末記　藤本　一美
奥武蔵それぞれの思い出
山行の思い出　永井　新八
有間小屋の忘年会　田川カツ子
奥武蔵と歩んだ歳月　関口　洋介
河田楨が心配したこと　広本　礼子
奥武蔵研究会と私　村木　悦子
娘と登った伊豆ヶ岳　倉持　政美
奥武蔵研究会創立60周年によせ
て　染谷　鷹治
60周年おめでとうございます
宮下玲子／細谷郁代／木本和男／
笹原洋子／吉田美知子／吉丸悦子
／鈴木利夫／大川満代／服部英昭
／山野曠一／岡野守／大澤昭美
特別寄稿　澁澤平九郎を偲ぶ山行
に再び参加して思う　鮫島　員義
奥武蔵、秩父の獅子舞(32)
―御幣を蹴る久那の舞　関口　洋介
9月号の表紙絵
オーサキ狐について　小泉　重光
山行報告
奥武蔵研究会六十年の歩み

◆季刊 Collegio　之潮
〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
℡042-328-1503　www.collegio.jp
◇38　2009.9　B6　68p
『江戸・東京地形学散歩』の読者
のために(2)　海面変動と地形
の変化　松田　磐余
徳川御三家の屋敷と都市水道管理
後藤　宏樹
『風土紀行』余滴　式　正英
東京電車線路物語(17)　京浜・東
北線は通らない「尾久」　井口　悦男
フランス古地図音楽散歩(20)
王の広場　関根　敏子
水路敷区道扱い　戸越公園の水路
大石　俊六
東京文学地図帖　戦後編(21)
谷中清水坂　槌田　満文
150年前の江戸を実測復元する(5)
「武家地」召し上げ　中川　恵司
大陸彷徨(4)　ロマノフカ行(4)　島田　英常
小型図紹介(2)　威遠堡門　山下　和正
17世紀シベリアの地図化過程(5)　佐々木路子
コラム　番外「地図本」紹介

◆郷土目黒
目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長沢英男方　℡03-3711-3959
◇53　2009.10　A5　150p
目黒の風景今昔　目黒川の緑橋付
近と蛇崩川合流付近
徳川氏の関東入国と江戸近郊の開
発　村上　直
五本木・屋敷神の一つ
肥前稲荷大明神縁起　宮川　栄一
碑文谷池厳島神社再建　高林　健二
江戸・東京近郊の柿　田丸　太郎
衾の先輩たちの大山への雨乞い考
栗山　佳也

フルベッキの写真・若き獅子たち　橋口　明子
目黒に居住した刃匠加藤寿三郎祐国　平山　元也
駒沢練兵場について　花井　鐵弥
私と中嶋飛行機工場　岩田　トメ
碑文谷彫考案岸田利女先生の思い出　山本　尚
目黒区に貢献した先輩を偲び地域社会の組織を担った役割をみる　齋藤　誠
「ケ」と「が」を間違うと怪我(けが)をする　阿部　信彦
目黒川上流・玉川上水取水口　仲野　基道
文化財に関する教育委員会最近の動向　目黒区教育委員会地域学習課
『めぐろ区の蝶』目黒区いきもの住民台帳から　目黒区都市整備部みどりと公園課
「目黒区めぐろ歴史資料館」開館！平成20年の事業をふりかえって　目黒区めぐろ歴史資料館

◆下町文化
江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28
℡03-3647-9111　www.city.koto.eg.jp
◇247　2009.9　A4　8p
歴史と文化を考えよう　'09江東区文化財保護強調月間　江東区民まつり民俗芸能大会
東京文化財保護ウィーク2009　東京８区文化財古民家めぐり／中川船番所資料館特別企画展「江戸の流通と中川番所」
国登録有形文化財「旧東京市深川食堂」深川東京モダン館　市民の食生活を支えた市設食堂　向山　伸子
江東歴史紀行　莫越山神社と祖神信仰—江戸東京の大工職組合　龍澤　潤
旧東京市深川食堂を再生活用　深川東京モダン館
ココにも歴史があった　中西　崇

◆城郭だより　日本城郭史学会会報
〒174-0056東京都板橋区志村1-35-2-202
℡03-3967-1948　年6000円
◇67　2009.10　A4　6p
江戸城から移築の門—紅葉山か吹上から移築　西ヶ谷恭弘
最近の城郭ニュースから「聚楽行幸図屏風」新知見の描かれた聚楽城　西ヶ谷恭弘
知られざる遺構の報告　岩槻城の移築現存の二門　奥田　好範
川越城現存空堀と中之門を整備　阿部　和彦
最近の注目される城郭関係図書から　西ヶ谷恭弘著『江戸城—その全容と歴史』、山田邦明著『室町の平和』、工藤寛正論『徳川・松平一族の事典』、小倉清次著『関東管領　上杉憲実』　大橋　健一
各地の城郭研究会活動から／史学会催事から

◆すみだ川　隅田川市民交流実行委員会
〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方　℡03-3844-2008
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
◇46　2009.10　A4　18p
はじめに「よどみに浮かぶうたかた」の行方を考える　篠田　裕
平成21年度総会　記念講演会・ミニコンート・懇親会　沼尻　重男
東京スカイツリー建設の進捗状況について　吉野　誠一

隅田川大学公開講座その1　隅田川を詠む詩歌—近代からの流れ　講師・遠井雨耕氏　岡部　恒雄
隅田川大学公開講座その2　隅田川七福神を巡って　講師・田中治郎　田中　治郎
隅田川大学公開講座ゼミナール映像で見る「隅田川万華鏡」　粟根　洋
隅田川大学公開講座フィールドワーク(FW)12　隅田川水系河川の探訪問—神田川(1)　糸井　守
本のご案内　『神田川再発見　歩けば江戸・東京の歴史と文化が見えてくる』　陣内　秀信
東京新聞フォーラム「神田川の再発見」に参加して—北十間川に閘門(ロック)設置提案　沼尻　重男
神田川の和舟下りで「儒学の道」づくりを—オープンミュージアム構想中間報告　猪狩　達夫
納涼「隅田川おどり」大会—四万十町屋台が出店　片田　宏一
会員だより　東京市民マラソン３万人が隅田川を渡る　鈴木　俊一
会報『すみだかわ』45号を読んで

◆西郊民俗　西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方　年2000円
www11.ocn.ne.jp/~oinari/
◇208　2009.9　B5　37p
裸回りと大奥の新参舞　長沢　利明
パラオ Palau の民間伝承片々　山本　節
河端の大杉　大島　建彦
山形県における野兎狩りの民俗(下)—威嚇猟と関連習俗の概要を中心に　天野　武
苗族の鼓社節と楓香樹　北野　晃
関東地方の天狗伝承(2)—都県間の比較　高橋　成

◆戦国史研究
戦国史研究会（発売：吉川弘文館）
〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
℡03-3813-9151
◇58　2009.8　A5　48p　700円
朝鮮出兵期における造船に関する一試論　津野　倫明
戦国期の公家家司について—信濃小路長盛と『政基公旅引付』　岩本　潤一
羅針盤足利政知と伊豆金山　家永　遵嗣
岩松持国の改元認識—「正木文書」の到来書をめぐって　丸島　和洋
長閑斎考　平山　優
浄信寺所蔵佐竹義久書状について　佐々木倫朗
以心崇伝の処遇　大嶌　聖子
戦国史関係論文目録(平成20年7月～12月)
例会記録／例会報告要旨

◆全国地名保存連盟会報
〒176-0012東京都練馬区豊玉北2-13-15
℡03-3994-4021
www.geocities.jp/chimeihz/
◇70　2009.10　A4　4p
地名の行方は？　犬養　智子
面白い北海道の地名　竹田津　実
『鴎外の坂』に思う　嵯峨久美子

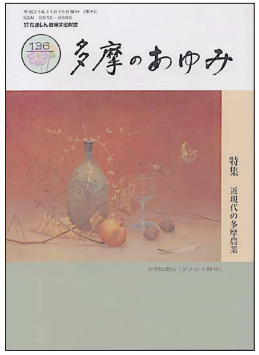
◆全日本郷土芸能協会会報
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14　パークハウス赤坂氷川102　℡03-3583-8290
年2000円　www.jfpaa.jp
◇57　2009.10　A4　26p

掛川の獅子　静岡県掛川市
平成21年度国際民俗芸能フェスティバル／秋の民俗芸能公演
国際文化交流事業—アジアの子どもたち　第11回全国こども民俗芸能大会／第6回伝統文化研修セミナー
第12回全国獅子舞フェスティバル・白山市　開催報告　誌上獅子舞フェスティバル　前編
娘義太夫「竹本津賀広」(1)　菅野　芳治
かながわ伝統芸能祭　地芝居2010
地芝居探訪(32)　松浦　鳥夫
地芝居公演情報　11月～12月
松平流傍目八目(33)　庶民の生活の中で息衝いていた歌舞伎　松平　誠
会員行事カレンダー祭暦　2009
11月～2010　1月／秋の人形公演／阿波のえびすまわし・箱まわしが東京のプーク人形劇場へやってきた！
報告「ベトナムの水上人形芝居」国枝たか子
報告「太鼓公演」
民俗楽器(33)　インドネシア　バリ島の楽器チェンチェン　山本　宏子
ビジット・ジャパンをプロデュースする　地域伝統芸能を元気にさせる演出方法(3)　中坪　功雄
会員紹介／会員情報
良書紹介　折口信夫と古代を旅ゆく／中世芸能の形成過程

◆大道芸通信　日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄　TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇191　2009.9　A4　2p　100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(9)
◇192　2009.9　A4　2p　100円
続々　二八蕎麦
◇193　2009.10　A4　2p　100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(10)
◇194　2009.10　A4　2p　100円
記憶(臆)術
書評　左記のとおり『江戸の大道芸人』に対する書評が載りました。ご報告します。
◇195　2009.11　A4　2p　100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(11)
◇196　2009.11　A4　2p　100円
「住吉踊り」と「かっぽれ」

◆多摩地域史研究会会報
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財ＣＯＭ内　TEL042-521-0186
◇90　2009.9　B5　14p
第67回例会報告　自由民権運動研究の現状と課題　松崎　稔
立地と景観から考える多摩の中世(前期)寺院—江戸期の地誌・絵図と近代地形図を手がかりに(9)　馬場　喜信
ニュース　国史跡・武蔵府中熊野神社古墳の復元工事終わる！
◇91　2009.11　B5　16p
第68回例会報告
瑞穂町の中世を歩く　高田　賢治
立地と景観から考える多摩の中世(前期)寺院—江戸期の地誌・絵図と近代地形図を手がかりに(10)　馬場　喜信
空襲・戦災を記録する会全国連絡会議　第39回　八王子・多摩大会報告　齊藤　勉

◆多摩のあゆみ　たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
たましん国立支店内　TEL042-574-1360
年1200円　www.tamashin.or.jp
◇136　2009.11　A5　126p
《特集　近現代の多摩農業》
明治期の農業と茶業および養蚕業—近代農業の夜明け　木曽　雅昭
野菜細密画に見る江戸・東京の農業　木曽　雅昭
ウド　川村　眞次
聞き書き　秋留台地、檜原の農業　大谷　孟雄
五日市特産「のらぼう菜」と地質・地形　樽　良平
多摩の農業景観と地域文化・その保全と復活　大竹　道茂
柳久保小麦　高橋　重雄
多摩の植木生産の歴史　川島　隆之
奥多摩ワサビ　荒木　俊光
多摩地区農業と市民的利用　井原　満明
さし絵のなかの多摩(47)　近代大和絵が描いた御嶽山と大欅—松岡映丘の「春の山」　齋藤　愼一
洋風建築への誘い(25)　昭和飛行機工業本部とノコギリ屋根の工場　伊藤　龍也
建物随想記(20)
ノコギリ屋根の巨大工場　酒井　哲
明治10年代の風—五日市憲法回顧　石井　道郎
お詫びと訂正　谷川　清隆
本の紹介
城定恒雄編著『七世松原庵一知句集』　杉　仁
稲城市教育委員会教育部生涯学習課編『稲城市の民具　第２集—多摩川中流域の川船建造用具—』　尾上　一明
多摩六都科学館編『平成19年度化石展図録　関東山地に衝突した丹沢山地と伊豆半島』　増渕　和夫



＊東京近郊多摩地方の戦後の変貌は、想像を絶するものがある。丘陵はもとより山でさえ消えてしまった所すらある。しかし、その都市化の波を縫って、都市近郊農業を生き抜いている人びとがいる。本特集企画は現在の農業景観がどのように出来上がってきたかを考えるところから始まったが、激しい変化の中で、農業と農地を守りぬくことがいかに困難であるかを思い知らされたという。だが、そうであるが故に培われた高い栽培技術こそが、多摩の農業の特徴であることに気付かされる。ウド、のらぼう菜、柳久保小麦、ワサビと言った伝統作物や、茶業、養蚕業等の発達の様子が紹介される。食の安心安全、地産地消といった点からしても、都市近郊農業の維持は極めて重要なことであり、時宜を得た特集である。

◆地方史研究
地方史研究協議会（発売：岩田書院）
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5

名著出版内　TEL03-3816-0739　年6600円
◇341（59-5）2009.10　A5　106p　1143円
《大会特集Ⅱ　南九州の地域形成と境界性—都城からの歴史像》
第59回大会を迎えるにあたって　常任委員会／第60回大会実行委員会
〈問題提起〉
古墳時代竪穴住居内「火処」から みた都城盆地の位相　今塩屋毅行
島津荘の成立をめぐる諸問題　桑畑　光博
四国遍路・修験者の文化・情報・技術交流試論—四国と南九州との関連を中心にして　西海　賢二
牧民官・有吉忠一と宮崎県　松本　洋幸
大会関連論文　中世後期南九州の村と町—『庄内地理志』を中心に　福島　金治
朝鮮通信使への接待と情報収集—伊予国津和地島を中心として　玉井　建也
中世後期における如法経信仰と地域的生業—摂津国勝尾寺を事例として　小山　貴子
岐阜県歴史資料館の機能縮小について　森田　晃一
宮崎考古学会の活動について　松林　豊樹
展示批評　すみだ郷土文化資料館10周年記念特別展「隅田川文化の誕生—梅若伝説と幻の町・隅田宿—」　斉藤　照徳
研究例会報告要旨　村山　卓
訃報　乾宏巳氏の訃　尾崎　安啓

◆伝え　日本口承文芸学会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學文学部　花部英雄研究室
TEL03-5466-0224　年4000円
◇45　2009.9　B5　12p
学会代表を引き受けるにあたって　花部　英雄
第57回研究例会報告「口承文芸研究と女性—研究史に根ざして」について　野村　敬子
第33回大会公開講演
説話のシルクロード—世界の口承文芸と奈良　竹原威滋　川森　博司
うたとは何か再考　藤井貞和　野村　典彦
第33回大会　奈良伝説散歩　竹原　威滋
第33回大会研究発表
近代日本における「仏教音楽」の成立—「俗謡」から分断されたご詠歌　新堀歓乃　難波美和子
方言研究と昔話研究　高木史人　遠　志保
イマカンの謡とシャーマン神歌　于暁飛　齋藤　純
南島における陰陽道系説話の展開　小池淳一　齋藤　純
Aomommomo（われつまびらかに述ぶ）—ユカラの一人称叙述について　荻原眞子　齋藤　君子
第33回大会シンポジウム　ウタとカタリ—比較歌謡研究の現場から　永池　健二
〈会員通信「小特集　口承文芸と企画展示」〉
伝説を展示する—すみだ郷土文化資料館特別展での試み　高塚　明恵
博物館における〈口承〉の可能性　高塚さより
教わるための共同作業—地域と大学との連携　飯倉　義之
佐々木喜善と仙台　石井　正己

◆東京産業考古学会　東京産業考古学会
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方　FAX03-3964-8548
◇79　2009.10　B5　8p
研究会「産業考古学　1・2」の概要　平井　東幸
拡大理事会の議事概要
見学会記録　食肉市場／東京海洋大学水産資料館　多田　統一
研究所めぐり　多田　統一
赤煉瓦探訪（26）　ブリック・マイスター鬼頭日出雄（6）　八木　司郎

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方　TEL03-3996-4454
◇323　2009.9　A4　4p
豊島氏関係史料を読む（12）　関東公方足利成氏と豊島氏（4）　伊藤　一美
「服部半蔵幸隆」人物考（5）—高松廃寺の仁王像銘をめぐるM氏書簡によせて　日向康三郎
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達（6）　鎌田　茂男
◇324　2009.11　A4　4p
「服部半蔵幸隆」人物考（6）—高松廃寺の仁王像銘をめぐるM氏書簡によせて　日向康三郎
豊島氏関係史料を読む（13）
関東管領上杉房顕と豊島氏　伊藤　一美
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達（7）　鎌田　茂男

◆民具研究　日本民具学会
〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661　年5000円
◇140　2009.9　B5　134p
特集　第33回民具学会大会公開シンポジウム「いま、なぜ『民具』研究か」　加藤隆志／石垣悟／岡本信也／小島孝夫／印南敏秀／鈴木通大
設置型唐箕と可搬型唐箕—内藤大海の開放型唐箕先行説批判の問題点　河野　通明
戦争の民具—千人結から千人針へ　渡辺　一弘
現代奉納小絵馬にみる祈願の変容—住吉大社奉納小絵馬悉皆調査を通して　野堀　正雄
八王子祭山車はどのように認識されているか　坪郷英彦／宮内貴久／工藤芳彰／伊藤真奈美
香時計（時香盤）について—「時の民俗」の探究から　神野　善治
虫売るむら—金沢の虫聞き文化　大門　哲
民具研究の課題と可能性—第33回大会公開シンポジウム後記　小島　孝夫
書評・書籍紹介　国立民族学博物館調査報告68『モノに見る生活文化とその時代に関する研究—国立民族学博物館所蔵の大村しげコレクションを通して』　福岡　直子
展示批評・展示紹介
大森海苔のふるさと館　藤塚　悦司
パルテノン多摩歴史ミュージアム企画展「鍛冶屋のあゆんだ幕末・明治—乞田鍛冶からひょうたん鍛冶へ—」　橋場万里子

◆民俗芸能研究　民俗芸能学会
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内　TEL03-3203-4141
年6000円
◇47　2009.9　A5　98p
〈平成20年度民俗芸能学会大会基調講演・シンポジウム　本田安次—人と学問〉
基調講演　本田安次先生の仕事を検証する　山路　興造
シンポジウム　司会・宮田繁幸
本田安次—人と学問　三隅　治雄

本田先生の審美眼　須藤　武子
思い出など　石井　一躬
本田安次の人と学問—そのファジーさをどのように継承するのか　神田より子
岳路の念仏と東樫山の歌念仏—念仏存続の背景をめぐって　島　忠久
書　評
伊勢市教育委員会編『一色の翁舞　調査報告書』　西瀬　英紀
勝部月子著『出雲神楽の世界　神事舞の形式』　山路　興造
下野敏見著『南日本の民俗文化史２　鹿児島の棒踊り』　松原　武実
高梨一美著『沖縄の「かみんちゅ」たち—女性祭司の世界』鈴木　正崇
永松敦著『九州の民俗芸能　海と山と里と—交流と展開の世界—』　渡辺　伸夫
三隅治雄著『天竜川水系まつり紀行—日本文化交流の大動脈　華麗に神々舞う里—山里と里が一番輝く時—』　久保田裕道

◆明治維新史学会だより
〒195-8550東京都町田市広袴1-1-1　国士舘大学文学部　勝田政治研究室　℡042-736-8134　www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/
◇12　2009.10　B５　10p
〈2009年度秋期大会報告要旨〉
大名家の祖先顕彰と政治改革　岸本　覚
幕末政治と対外危機認識の変遷（仮）　白石　烈
井上毅と参事院—フランスの諸規定と「参事院章程」の比較を中心に　天野　嘉子
2009年度第39回明治維新史学会大会記事／2009年度第39回明治維新史学会大会総会記事
〈2009年度第39回明治維新史学会大会討論要旨〉
箱石大氏「戊辰戦争史料としての戦状届書に関する一考察」　佐藤　隆一
宮原浩氏「江差における幕末維新新史関係史料について」　檜皮　瑞樹
〈2009年度秋期大会討論要旨〉
後藤敦史氏「海防掛目付方の開国論」と討論要旨　針谷　武志

◆明治大学博物館友の会会報
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1　℡03-3296-4448　年3000円　www.meiji.ac.jp/museum/
◇22　2009.10　A４　8p
明日の大学博物館友の会を目指そう　熊野　正也
会員の広場　翡翠とダイヤモンド　岸井　貫
展示解説員活動報告　「結城紬・岩宿・鷹山遺跡見学会」の実施　大山　清
秋季特別展「大名と領地　お殿様のお引っ越し」　友の会会員のためのイントロダクション　外山　徹
美術館見学記　礫川浮世絵美術館　鈴木　弘
会員案内による地元見学会　葛飾・柴又を訪れる　青鹿　良市

◆目黒区郷土研究　目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13　長澤英男方　℡03-3711-3959
◇656　2009.9　B５　8p　150円
路線バスに乗って区内案内(3)（渋71系統）「渋谷駅東口～洗足駅」線の内、けぼこ坂上～都水道局目黒営業所前　平山　元也
大河ドラマ「天地人」　直江兼続の第二の故郷米沢　齋藤　誠
江戸五色不動の謎(6)　田丸　太郎
明治十三年・火薬庫完成　橋口　明子
会報にみる目黒の昔(22)「碑文谷仁王碑の修復完成」川口絢二／「自由が丘の昔と今(一)　七十五年のあらまし」久利山きん　編　集　部
講演会盛況に終わる　「徳川氏関東入国と近郊の開発」　編　集　部
吉良治家の帰国(2)　竹田　務
◇657　2009.10　B５　8p　150円
路線バスに乗って区内案内(4)（渋71系統）「渋谷駅東口～洗足駅」線の内、水道局目黒営業所前～月光原小学校前　平山　元也
お稲荷様とお祭り　栗山　佳也
江戸五色不動の謎(7)　田丸　太郎
明治十二年・勝海舟　橋口　明子
会報にみる目黒の昔(22)「自由が丘の昔と今」久利山きん　編　集　部
「柿の木坂移り変わり」より　柿が赤くなれば医者は青くなる　柿の木坂町会
吉良治家の帰国(3)　竹田　務
◇658　2009.11　B５　8p　150円
バス見学会　秋の上州路を尋ねて　目黒　英夫
防災訓練　仲野　基道
江戸五色不動の謎(8)　田丸　太郎
明治十四年・駒場農学校　橋口　暁子
会報にみる目黒の昔(23)「自由が丘の昔と今」久利山きん／「自由が丘の昔と今(二)」久利山きん　編　集　部
「柿の木坂移り変わり」　町内アンケートに基づく柿の木坂談話より　柿の木坂町会
吉良治家の帰国(4)　竹田　務

◆郵便史研究　郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7　田中寛方　℡03-3945-2497　年3500円　www.yuubinshi.sakura.jp
◇28　2009.9　B５　60p　2000円
明治初期の郵便為替掛屋用達—広瀬家の事例　磯部　孝明
紙幣局を観るの記　澤　まもる
大型ボタ印は何故63局で使われたのか—大型ボタ印配備の背景を読み解く　丹下　甲一
ていぱーく（逓信総合博物館）資料紹介(12)　郵便創業期の郵便役所等の写真　井上　卓朗
小包送票異聞(2)　市内小包　加藤　秀夫
旧刊紹介(2)　蔭山理三郎編著・刊『郷土郵便史』　鈴木　克彦
近刊紹介　小林正義著『知られざる前島密』　星名　定雄

◆小田原史談　小田原史談会
〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13　植田方　℡0465-48-9072　年3000円
◇219　2009.10　B５　28p
氏照考　田中　豊
旅のつれづれ俳句日記　剣持　芳枝
小田原の郷土史再発見　『明良帯録』を書いた小田原藩士　石井　啓文
小田原藩浅田兄弟の敵討『孝貞義鑑』散策(3)　鈴木　好
私の青春（後）—京都練習飛行隊と終戦　菅沼　博
酒匂堰について　佐久間俊治
片岡日記(45)　片岡永左衛門

史談再録(9)　二宮尊徳と古屋キノと言う人 『小田原史談』第28号(昭和39年2月号)　井上　英一

◆神奈川県立公文書館だより
〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
℡045-364-4456　1994年創刊
◇22　2009.10　A4　4p
神奈川開港・開国150周年メモリアルイベント　横浜開港と神奈川—神奈川奉行から始まる神奈川県の歴史
展示を終えて　通常展示「資料にみる神奈川の歴史」
ミニ展示を終えて 「飯田家文書にみる近世の北綱島村」
展示を終えて
ミニ展示「産業報国会の時代」
所蔵資料紹介　神奈川県議会会議録　昭和50年9月定例会(行政刊行物)
古文書資料　沼田家文書

◆コロス　常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方　年1000円
◇118　2009.8　B5　6p
城下町の民俗的世界
—小田原の年中行事(7)　西海　賢二
◇119　2009.11　B5　6p
城下町の民俗的世界
—小田原の年中行事(8)　西海　賢二

◆寒川文書館だより
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1　℡0467-75-3691
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp
◇6　2009.9　A4　8p
資料紹介「地所貸渡し約定証」(寒川町蔵)　高木　秀彰
運営審議会委員・町史編集委員を委嘱
第6回企画展「広報さむかわの60年」／ミニ展示始めました
シリーズ　寒川の先人たち(5)
寒川村の誕生—入沢知周
収蔵庫の資料から(3)

◆全国地名研究交流誌 地名談話室
日本地名研究所
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館４階　℡044-812-1106
www8.ocn.ne.jp/~timeiken/
◇24　2009.8　B5　6p
尻屋と矢越
—ヤというアイヌ語地名　谷川　健一
沼館・沼柵そして雄勝城　土肥　稔
ハヤト地名　金子　欣三
伊賀国地名研究会一周年記念　谷川健一先生の講演　木津川と杣山

◆戦争と民衆
戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方
◇63　2009.8　A5　24p
聞き取り　戦死した兄と遺族会について　話し手・譲原武彦
《特集　本会発足30周年》
30周年を迎えて　飯田　耀子
30年間の活動年表
320周年記念出版『30年のあゆみ』の紹介
読者からのメッセージ
書評　小宮まゆみ『敵国人抑留』を読んで　井上　弘
書籍紹介　矢野慎一著『日本の遺跡と遺産７　戦争遺跡』
最近の『戦争と民衆』総目次（第49号～第62号）

◆日本地名研究所通信
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館４階　℡044-812-1191
www8.ocn.ne.jp/~timeiken/
◇70　2009.10　B5　6p
爽やかな風と共に　谷川　健一
アイヌ語地名教室開校　山本　修平
池田末則先生の講演会開く　倉本　正一
第22回熊本地名シンポジウム in 川尻「港町川尻の歴史遺産と地名」
海の熊野の魅力　谷川　健一
◇付録　2009.10　B5　4p
本の紹介
『樺太アイヌ語［入門会話］』村崎恭子著
『飛州志』は語る　飛騨と円空—生きた円空像　池之端甚衛
『修験僧円空』について　池田　勇次
書評　谷川健一著『賤民の異能と芸能』 全篇にわたって脈打つ畏敬の念　前田　速夫

◆扣之帳　扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方　℡0465-22-8852　年2500円
◇25　2009.9　A5　88p　500円
足柄学講座　山北編(2)
近世の山北の様相　藤井　良晃
ボクの映画館(5) 「エノケン」という役者がいた　平倉　正
酒匂だより　町田紀美子
介山の「氷の花」　岸　達志
尊徳の天道と人道　尾上　武
宇喜多秀家と豪姫　今川　徳子
ニセモノの紀行文「箱根温泉之記」　佐宗　欣二
足柄口談(3)　おやじの土産は地球博物館に行ったよ　運野　行男
自由律俳句入門講座(1)
自由律俳句って何　井上　敬雄
木村博君を偲ぶ　岸　達志
『郷土文化』の頃　木村　博
村芝居よオ～(2)
足柄時代劇にみる心もよう　本多　博
近代神奈川の書籍文化(1)
書籍販売者と書籍売捌所　高野　肇

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
℡045-481-5661　年3500円
◇498（42-6）2009.9　A5　24p　350円
新車は何故14角形なのか？　島村　俊和
民具短信　寛元五年銘の「駅鈴」について　清野利明／金野啓史
◇499（42-7）2009.10　A5　24p　350円
植物たちの五感—畑作物を中心に　脇田　雅彦
収蔵庫を覗いてみれば
三業組合旧蔵の資料、道具　大野　一郎
書籍紹介 『鍛冶屋のあゆんだ幕末・明治—乞田鍛冶からひょうたん鍛冶へ—』　橋場万里子
◇500（42-8）2009.11　A5　24p　350円
井川のニホンミツバチ(1)　松田香代子
蜂を飼う四季　山崎　祐子
山衆の蜂蜜採り　多々良典秀
民具短信
砺波散村に「民具館」開館　安ヵ川恵子

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315
◇117　2009.8　A5　104p　680円
《特集　日本の庭Ⅰ　神と斎庭》
口絵　松尾大社の松風苑
エッセイ　梅雨に煙る日本の山水　栗田　勇
「には(庭・斎庭)」語義語源雑記　中村　幸弘
庭上祭祀の意義について　中西　正幸
磐座から石組へ　吉河　功
芸能舞台としての「庭」
—宮中の御神楽を中心に　山路　興造
口絵解説　松尾大社の松風苑　尾崎　俊廣
〈小特集　盆栽〉
盆栽と自然　坂本新太郎
鉢の木伝説　三浦　勝男
大宮盆栽町の成立と発展　山田登美男
宮中の春飾りと盆栽　久能　靖
八幡宮紹介　安田八幡宮（新潟県阿賀野市保田）

◆歴研よこはま　横浜歴史研究会
〒223-0056横浜市港北区新吉田町3255
八城東郷方
◇63　2009.11　B5　44p
平成21年度上半期を終えて　八城　東郷
《特集
テーマ「横浜開港150周年にあたって」》
幕末の黒船来航の歴史　竹村　紘一
横浜開港150周年
—生みの辛酸の道程　横山　忠弘
攘夷活動と横浜租界誕生
—幕末の光と蔭　堀江　洋之
横浜開港150周年によせて　鈴木　英男
白船来航　荻島　和男
四天王寺と物部合戦　田邊　英治
倭国の暦雑考(1)—倭国の暦次第　間淵二三夫
善光寺秘仏を拝見した人(下)　石川　勝義
歴研本部主催　本部会員懇談会・講演の報告／平成21年度・春の歴史散歩—大磯宿の歴史と文学
エッセイ
大老井伊掃部頭直弼の銅像　八城　東郷
子供の頃の横浜風景点描　田邊　英治
歴史一口メモ(23)　前部　謙蔵
横浜郷土史団体連絡協議会　第4回定期総会報告／アーネスト・サトウ
江戸時代鎖国期における対外関係の諸相について(3)　荻島　和男
尼子家の忠臣　立原源太兵衛久綱の波瀾の生涯　竹村　紘一

中　部

◆頸城文化　上越郷土研究会
〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11　花ヶ前盛明方　TEL025-543-4354　1952年創刊
◇57　2009.10　A5　201p
これはと思う史料にめぐり逢えた歴史家・渡邊慶一—『頸城文化』を創刊号から読む(4)　石塚　正英
「ヒスイ原石」についての覚書　関　雅之
上杉謙信の密教と毘沙門—秋葉の里から空海入定の高野山へ　土井　重男
守門神社(守門大明神)の研究　石田　哲彌
長尾上杉氏を研究する際の史料について—歴代古案、謙信公御書集について　諸井　幸枝
福嶋城(5)　渡邊　昭二
糸魚川地域の稚児舞楽の一考察　土田　孝雄
関川御関所勤方を巡る農民の闘い(前)　青山　始義
鈴木魚都里著『東都道中分間絵図』と魚都里の紹介　佐藤　富司
東本願寺天保の再建と頸城の門徒　太田　空賢
古文書で読む別所村　佐藤　幸雄
拓本による転写技術と歴史・文化遺産—寺子屋師匠の筆塚から観えてくるもの　丸山　正男
高田城址外堀の蓮植生過程の一考察　堀川喜久司
資料紹介　火打山山頂採集「能生白山御正躰」銘の懸仏鏡面　小池　義人
長岡藩預所の年貢について　本山　幸一
「天地人」放映に寄せて　花ヶ前盛明

◆高志路　新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方　TEL025-231-6100
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇373　2009.9　A5　45p
獅子神楽を訪ねて(1)　五十嵐　東
威嚇猟における猟技術(2)—野兎を目指す場合は単独猟であるのか、小人数猟の提唱　天野　武
越後蒲原平野における割地慣行の終焉(2)　中村　義隆
◇374　2009.11　A5　35p
津川町内の百万遍—区と町の行事　石本　敏也
威嚇猟における猟技術(3)—野兎を目指す場合は単独猟であるのか、小人数猟の提唱　天野　武
越後蒲原平野における割地慣行の終焉（3）　中村　義隆
石戸の裸押し合いの煙　金田　文男
カッパの掛け図　五十嵐　東
阿賀町津川十一区の百万遍　鶴巻　武則

◆長岡あーかいぶす
長岡市立中央図書館文書資料室
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立互尊文庫２階　TEL0258-36-7832
www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/
◇8　2009.10　A4　6p
文書の虫—長岡藩領上組割元・金子家文書　小林　良子
災害と文書資料室(5)
中越大震災から５年　田中　洋史
災害の記録と記憶(2)
記録としての新聞　野村　和正
歴史的公文書は語る(3)
厚生会館の思い出　桜井奈穂子
長岡の碩学(8)
大平与文治(1839-1896)　金垣　孝二
長岡市史双書最新刊！　№48『新潟県中越大震災と史料保存(1)
長岡市立中央図書館文書資料室の試み』　田中　祐子
平成21年度の歴史公文書の整理　稲垣美知子
好評発売中！『郷土長岡を創った人びと』　田中　祐子
史料保存こぼればなし(1)
ホチキスとクリップの山　稲垣美知子

◆新潟県文人研究　越佐文人研究会
〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2
TEL0256-88-5335
◇12　2009.10　B5　99p
既刊号総目録
巻頭特集　越佐ゆかりの短冊拾遺
『新潟日報』題字の変移　伊藤　鳩南
亀田鵬斎と『仏説摩訶酒仏妙楽経』　石井　公成
越後伝二天一流の展開　飯田　素州
澄と智恵子と高村光太郎　旗野　博
行田魁庵の外城堤之図・考(続)　鈴木　仁
相馬御風宛書簡について(4)
—山中晋平　金子善八郎

會津八一関係の最近情報　池内　力
笠原軏とその周辺　岡村　鉄琴

◆新潟史学　新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6830
◇61　2009.8　A5　84p
近世・近代における「上杉家文書」の整理・管理とその変容　浅倉　有子
村芝居の展開と組織構造(下)—越後魚沼郡塩沢地域を中心に　滝沢　繁
戦国期権力の袖判について—今川氏を中心として　石山　裕貴
書評・新刊紹介
矢田俊文編『直江兼続』　田中　洋史
坂井秀弥著『古代地域社会の考古学』　相沢　央
「新潟県地域史研究ネットワーク」発足の会、参加記録　中林　隆之
あさひまち展示館—概要と最近の展示から　五十嵐一樹
佐渡金銀山世界遺産フォーラム—世界遺産登録をめぐる最近の動きから　田中　祐樹

◆まきの木　巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL0256-72-6757　年1500円
◇91　2009.10　B5　16p
史料紹介　稲島村庄屋株の売却　亀井　功
古代方位と横滝山廃寺跡　藤田　治雄
亀井功著『馬堀筒と首塚の物語』について　山崎　行夫
「友の会」と「巻史学会」の合同視察研修旅行「奥山荘城館遺跡を訪ねて」　大木　禊爾
わたしの提言　地域文化の遅れを取り戻したい—巻図書館ができるのを機の考えたこと　小林　一郎
平成20年巻地区学会の動向

◆良寛だより　全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2　北方文化博物館新潟分館内　TEL025-222-2262
◇126　2009.10　B5　28p
良寛遺墨解説(84)　加藤　僖一
良寛尊像つれづれ(88)国上山の良寛さま　涌井　茂
折々の良寛(15)全国良寛会南魚沼大会　長谷川義明
平成22年度　良寛180年忌記念全国良寛会比叡山大会(予定)
新渡戸稲造と私(1)　佐藤　全弘
全国良寛会比叡山大会「記念講演」講師紹介に寄せて　斎藤　信夫
『日本国語大辞典』第二版に用例となっている良寛の詩歌　吉田　福恵
良寛の短歌「長雨の頃」は文政十二年五月二十四日の大風を詠嘆した歌であった　冨澤　信明
良寛さんの細楷は「金釘流」ではない　川口　霽亭
アメリカに良寛碑　梅津　昇
加藤僖一著『良寛入門』の中国語版『良寛其人』を読んで　房　文　慧
各地良寛会紹介
さいたま良寛会　初参加　中込　縁
全国良寛会南魚沼大会に参加して良寛の人と歌と書を語り合う　青木　彬樹
古川信三　加茂良寛会前会長を偲んで　吉田　弘
駒谷正雄　柏崎良寛貞心会副会長の突然の死を悼む　田村甚三郎
追悼　弥彦良寛会初代会長梨本哲雄様　皆川　良作
追悼　新発田良寛会前会長渡邊昭三様　福岡　光二
松本市壽様良寛精神の熱烈な伝道者　柳本　雄司
トピックス／新刊紹介／会報・会誌紹介

◆とやま民俗　富山民俗の会
〒930-0881富山市安養坊56甲-1
富山市民俗資料館内　年3000円
◇72　2009.9　A5　20p
利賀における野兎除け—「野兎除けの諸相考」補遺　天野　武
熊皮の伝承—旧上新川郡大沢野町笹津の場合　森　俊
コクボのナタヘゴ(鉈鞘)づくり　加藤　享子
民俗の窓・会務報告・文献紹介・受贈図書

◆北陸石仏の会会報
〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方　TEL0763-32-2772　年3000円
◇35　2009.9　B5　6p
奥山峠の地蔵菩薩　滝本やすし
下仁歩道祖神—八尾町仁歩地区の道祖神文字碑訪問記　平井　一雄
富山市(大沢野)坂本　観音堂祭礼　平井　一雄
北陸石仏の会　第39回例会案内敦賀方面の石仏めぐり

◆若越郷土研究　福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井県福井市下馬町51-11
TEL0776-33-8860　年3500円
◇54-1　2009.9　B5　36p
特別寄稿
粟屋越中守勝久と国吉籠城戦　大野　康弘
越前一揆の構造　竹間　芳明
越前の禅宗草創期について(追補)　池田　正男
施設紹介
つかってください！文書館　柳沢芙美子

◆飯田市歴研ニュース　飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145　TEL 0265-53-4670　www.city.iida.nagano.jp/iihr/
◇42　2009.10　A4　4p
報告　第7回地域史研究集会—飯田・下伊那から戦争と地域を考える
第2回歴史学オリエンテーション開催／新刊紹介『水引のまち飯田』、満蒙開拓を語りつぐ会編『下伊那のなかの満州　聞き書き報告集7』／2009下半期　飯田アカデミア／飯田歴研賞2009受賞作品／歴研ゼミ
リレーエッセイ　研究の原点の地＝飯田を訪ねて　須崎　愼一

◆伊　那　伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017　年5500円
◇976（57-9）2009.9　A5　50p　500円
口絵　久米光明寺の阿弥陀如来・薬師如来坐像　山内　尚巳
三河民権国事犯事件と発覚地の飯田地方(3の2)—江戸期の伊那谷における不二孝の展開　北原　明文
南信州の石造五輪塔—鎌倉・室町時代　岡田　正彦
舘松千足先生の碑—頌徳碑・筆子塚・歌碑　林　登美人
「千代の方言」から見えてきたもの—今、千代から消えつつある方言のいくつか　萩元　育夫

熊谷元一先生　百歳おめでとう！　原田　望
◇977（57-10）2009.10　A5　50p　500円
口絵　県指定稀少植物　ササユリとヤマユリ　北城　節雄
震災火災感想記録　片桐　季夫
月見草(1)　清野大吉郎
私の子どもの頃の里山と農家の暮らし　中川　勲
野鳥雑記(1)　原田　望
◇978（57-11）2009.11　A5　50p　500円
口絵　山吹姫の墓と朝日受永墓　原　董
南信州の石造五輪塔—江戸時代　岡田　正彦
中世、橋北城の幻影を追う(6)　稲井　遥
江戸への旅(2)—上郷惣代の出府にかかわって　今村　善興
伊那谷で初めての篤胤歿後門人—片桐春一郎に関する日記・書簡・誓廼詞　林　登美人
『軍教問題對談會記事』を読む　清水　迪夫

◆伊那路　上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
℡0265-78-6719　年5000円
◇632（53-9）2009.9　A5　40ｐ　500円
今は昔、美篤組合製糸の跡をたずねて—ある糸取り姉妹とのかかわりから　山岸　貢
「伊那の三女」ところどころ　桃澤　匡行
箕輪の平田門人と小林義治の神代文字の墓碑　矢澤　喬治
伊那谷のワシ・タカの仲間—民俗の窓を通して(3)　吉田　保晴
バリ島とジャワ島の寺院　山本　勝
文化短信　南アルプスとその周辺の自然・文化をめぐる動向　山口　通之
考古あれこれ(2)　夏休みの一研究「竪穴住居」造り　田中　清文
師匠の背中(2)より(12)　秋の野良仕事(稲刈り)　若林　徹男
◇633（53-10）2009.10　A5　40p　500円
《民俗特集号》
伊那市西箕輪羽広仲仙寺の神願様　中崎　隆生
山岳信仰の起源と西春近の権現山信仰　飯塚　政美
今に伝わる「道切り」の大草履　桃澤　匡行
箕輪南宮神社「鹿踊り」の古文書発見　伊藤　一夫
伊那谷のキジ・オナガ・ムクドリ・ヒヨドリ—民俗の窓を通して(4)　吉田　保晴
文化短信　殿島橋　下平　道子
古文書の窓　矢彦神社御柱人足勤仕一札のこと　三浦　孝美
師匠の背中(2)より(13)　灰の食器処理　若林　徹男
『伊那路』との交流団体・機関の紹介(5)
◇634（53-11）2009.11　A5　40p　500円
乞食者・井月—放浪の系譜のなかにみる　北村　皆雄
上伊那教育会所蔵秀作展の「伊沢コーナー」を見て—『小学唱歌壱』の教材「からす」から思うこと　竹渕　修二
幕末の箕輪地方の狂歌について　矢澤　喬治
伊那谷のコジュケイ—民俗の窓を通して(5)　吉田　保晴
流れる五戸川は生きている—保科氏の最上移封と会津藩の戊辰役後の斗南転封をめぐって　倉沢　健郎
文化短信　相次いで枯れる天然記念物の古木　三浦　孝美
考古あれこれ(3)　遺跡と遺物の整合性について　飯塚　政美
師匠の背中(2)より(14)　稲藁の保存「にょう積み」　若林　徹男
「理兵衛堤防と天竜川」展・シンポジウム「放浪の系譜」のご案内

◆伊那民俗　柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内　℡0265-22-8118
年3000円
◇78　2009.9　B5　8p
峠とは何か—峠の民俗　久保田賀津男
書評　『遠山谷北部の民俗』　新谷　尚紀
『遠山谷北部の民俗』調査報告に寄せて　山崎　昭文
『遠山谷北部の民俗』紹介
「遠山霜月祭〈上村〉」ＤＶＤが完成しました

◆信　濃　信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
℡0263-36-1785　年8400円
www.shinano-shigakukai.com
◇716（61-9）2009.9　A5　80p　900円
「道祖神」に見る伝承と創造　倉石　忠彦
明治前期、真言宗の長野県における教導職活動(上)—僧侶、大沼、寺沢・西川の活動資料を主に　田川　幸生
上野原の戦、飯山市静間説の新展開(上)—弘治二～三年甲越合戦の真相　松澤　芳宏
宵まちと先祖の記憶—茨城県土浦市沖宿町鹿島例大祭における当屋を中心に　前川　智子
研究の窓　プランゲ文庫収録雑誌目録　長野関係分(続)　田玉　徳明
信濃史学会秋季例会開催のお知らせ／学界情報／投稿規定／信濃史学会入会のお勧め／雑誌関係要目／会員消息
◇717（61-10）2009.10　A5　92p　900円
《特集　追悼　小穴芳実元委員長》
小穴氏を偲ぶ
安曇野の猛将小穴芳実さんに捧げる　塚本　学
小穴芳実さんと『豊科町誌』　加藤幸三郎
小穴芳実氏の訃報に接して　飯沼　賢司
小穴氏の研究を顧みる
小穴芳実先生と烏川扇状地の地域史—用水圷での地域開発の歩みを中心に　重野　昭茂
小穴芳実先生を憶う—郡誌・町村誌編纂を通して　百瀬　宗治
追憶・小穴芳実先生—懐かしい『豊科町誌』編纂の頃　高原　正文
五〇余年の回想断片　服部　祐雄
信濃史学会の主張を具体化する論考の数々　後藤　芳孝
小穴芳実先生の安曇野近世史の研究　田中　薫
告別式　弔辞　山浦　寿
遺稿　私の地域史研究　小穴　芳実
小穴芳実氏著作・論文等目録
山本宣治から小林多喜二へ—二人のプロレタリア運動家をつなぐ兄弟の人物史　伊藤　友久
上野原の戦、飯山市静間説の新展開(下)—弘治二～三年甲越合戦の真相　松澤　芳宏
信濃史学会秋季例会のお知らせ／雑誌関係要目／会員消息
◇718（61-11）2009.11　A5　82p　900円
地理学小特集
軽井沢と大雨、その人文地理学的意味を考える　吉田　隆彦
ニセアカシアの分布拡大　小山　泰弘

明治前期、真言宗の長野県におけ
る教導職活動(下)—僧侶、大
沼・寺沢・西川の活動資料を主
に　田川　幸生
里地・里山の江戸時代(上)—松本
平(盆地)とそれを取り巻く山々
田中　薫
駒ヶ根市光前寺三重塔について
—塔の向きについての試論　窪田　善雄
新刊紹介　杉仁著『近世の在村文
化と書物出版』　山田　正子

◆テラス　飯田市美術博物館ニュース
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
TEL0265-22-8118　www.iida-museum.org
◇83　2009.10　A4　4p
上郷考古博物館秋季企画展　南信
州の山城—戦国を生きた人びと
／年鑑パスポート会員限定企画
美術鑑賞の会／特別陳列　化
石は語る—生物の進化と古環境
館長コラム　南信州の山城に想う
滝沢　具幸

◆長 野　長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673　年3000円
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇267　2009.10　A5　60p　700円
未来への提言　善光寺七社の現在
(3)　加茂神社　小林　一郎
《特集　未来に繋がる絵解きの世界(3)》
飯山市常盤柳新田　善光寺講の善
光寺縁起絵伝　小林　玲子
善光寺如来絵伝の絵解き台本「善
光寺如来御絵伝略解」(1)　小林　一郎
上杉景勝と直江兼続—御館の乱再
考と武田勝頼の立場　土井　重男
善光寺地震などを伝える『見集録
坤』の紹介(6)　鬼頭　康之
談「真田三代記」(22)　小林　一郎

◆長野県民俗の会通信
〒390-0222松本市入山辺1403　木下守方
TEL0263-50-9911　年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇213　2009.9　B5　8p
松本市里山辺上金井の御嶽神社　臼井ひろみ
松本の巨人伝説の伝承地について
(2)　小原　稔

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内　TEL058-265-0010
◇73　2009.10　A4　8p
都市間交流事業　特別展「越中と
美濃を結ぶ考古展」
企画展「ちょっと昔の道具たち」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一　素描の魅力」
博物館ニュース
大学生のインターンシップ
研究ノート　信長文書35号の花押
土山　公仁
館蔵資料紹介
土岐頼世・成瀬木像図

◆郷土研究岐阜　岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1　岐阜県図書館
内　TEL058-275-5111　年2800円
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
◇112　2009.9　B5　28p
老中駕籠訴前夜
飛脚の衆中あて連判一札　林　格男
美濃飛騨の地芝居はいつからか　丸山幸太郎
近代の経済変動と地域金融機関の
変遷—西濃地域を中心として
(1)　山田　賢二
中世、美濃・尾張の国境の変遷
国境の川・木曾川の流路変遷の
歴史(1)　鈴木　秀雄
万里集九の門人　泛梗省佐につい
て　横山　住雄
書窓の風
西濃　大垣市史資料編近代　横幕　孜
可茂「ふるさと可児郡　新四
国八十八ケ所めぐり」の発刊
中島　勝国
東濃　土岐市町史編纂の動き　桃井　勝
郷土関係新刊書目録(98)
郷土関係逐次刊行物文献目録(97)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532　TEL0538
-32-3546　www4.tokai.or.jp/child-c.j/
◇28　2009.9　A4　6p
遠州横須賀の秋マツリ
チーネリあってのオーネリ　吉川　祐子
◇29　2009.10　A4　4p
伝統と変化に揺れ動く下田八幡神
社祭礼　吉川　祐子
◇30　2009.11　A4　4p
新居町二宮神社の遷宮
世間話が始まる時　吉川　祐子

◆静岡県近代史研究会会報
〒432-8011浜松市中区城北3-5-1　静岡大学
情報学部　荒川章二研究室内　年4000円
◇372　2009.9　B5　4p　200円
第32回総会を開催します
2009年7月定例幹事会報告　村瀬　隆彦
9月例会レジュメ　荒川章二著『日
本の歴史　十六　豊かさへの渇
望』合評会に向けて　鈴木　雅子
新刊紹介　静岡県戦争遺跡研究会
『静岡県の戦争遺跡を歩く』
◇373　2009.10　B5　4p　200円
総会記念講演会レジュメ
戦後天皇制とは何か　小田部雄次
資料紹介　1948年浜松(乱闘)事件
の新資料—警察の関与をめぐっ
て　小池　善之
論文・新刊図書紹介
◇374　2009.11　B5　6p　200円
第32回総会さる
11月例会のレジュメ
空襲の記憶—浜松市の場合　竹内　美帆

◆静岡県民俗学会会報
〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
homepage3.nifty.com/s-folklore/
◇133　2009.10　A4　6p
第3回卒業論文発表会・相談会参
加者募集／平成21年度例会「夜
っぴとい神楽」見学会のお知ら
せ
清沢地区における神楽指導者と伝
承の変遷について　多々良典秀
静岡の民俗語彙・方言短信
ママクサカリ　古川　幸雄
博物館情報

◆静岡歴研会報　静岡県歴史研究会
〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方　TEL054-286-8659
◇126　2009.10　B5　16p
和歌山から紀ノ川沿いに
1泊2日史跡見学会　篠原　旭
第85回研究会　大川誠一氏の「箸
墓はやっぱり卑弥呼の墓ではな
い」の概要／杉山承作氏の「三

内丸山遺跡の開発と土偶の役割について」の概要／和田嘉夫氏の「昔の富士登山について」の概要
近江八話(5)　琵琶湖の丸子船　鈴木　康弘

◆**豆州歴史通信**　豆州研究社歴史通信部
〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
◇**444**　2009.9　B5　4p
続　1877(明治10)年代・伊豆貧困党騒動は伊豆各地で広がる
同時期の伊豆貧困党事件を静岡県史通史編5近現代1で読む
静岡県史資料編17近現代2　掲載の資料見出し紹介
1892(明治25)年「珍広告」　選挙の【御馳走と投票は別】　静岡大務新聞の記事を東京日々新聞が報道同年2月16日
1891(明治24)年　網代村建物公売　村医俸給支給されず　最後の手段
◇**445**　2009.9　B5　4p
1890(明治23)年11月　天城御料林など世傳(セデン・セイデン→代々に引き継ぐ)宮内省発表
公立小学校教員の初任給と制度変遷／理髪料金の変遷
◇**446**　2009.10　B5　4p
1914(大正3)年1月6日　貨客船愛鷹丸　烈風のために横転・沈没の悲劇に　伊豆西海岸・土肥〜戸田間の沖合　定員の五倍の船客が乗船していた
◇**447**　2009.10　B5　4p
1921(大正10)年8月　天城世傳御料地の解除決定される
1921(大正10)年9月　小田原の郵便配達人が出勤拒否（大正10年9月2日　大阪毎日新聞）
史料　百年前から物価変遷「うどん」「蕎麦」
◇**448**　2009.11　B5　4p
1915(大正4)年、陸軍機　所沢→大阪間の飛行計画発表　伊豆国軽井沢峠(静岡県田方郡)　飛行には最も危険な山岳地帯
◇**449**　2009.11　B5　4p
1880(明治13)年4月28日　熱海大火　303戸焼失、焼死者3名、負傷者多数　再建のため多くの職人たちが入る　街は荒れ犯罪は増加の一途をたどる
1889(明治22)年1月　東京熱海間電話開通　明治22年1月3日「時事新聞」より／電話四方山話

◆**あつた**　熱田神宮宮庁
〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
℡052-671-4151　www.atsutajingu.or.jp
◇**224**　2009.10　A5　29p（抄）
熱田社の和歌と文学(25)—小堀遠州『遠江守政一紀行』の場合　八木意知男
西洞院時名雑考
—熱田神宮遷宮奉納和歌より　辻村　全弘

◆**郷土研究誌みなみ**　南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘5　南知多町教育委員会内
℡0569-65-2880
◇**88**　2009.11　A5　80p　500円
《前会長 間瀬正通氏追悼号》
前会長 間瀬正通氏と略歴
伊勢・神島の旅の思い出　松本　亀男
間瀬正通氏を偲んで　森下　利久
神道と地球環境問題　相川　成三
間瀬正通さんを偲んで　石橋　伊鶴
先輩との別れ　大西　照彦
私の喧嘩友達　中谷　芳夫
間瀬正通氏のご逝去を悼む　伊藤　定男
前会長間瀬正通氏の他界を悼む　石黒　宏
間瀬正通氏と「みなみ」　中村　祥
名古屋城築城の採石地—篠島(2)　松本　亀男
篠島から名古屋城へ運ばれた石材—方法・ルートなど　高田　祐吉
尾張藩唯一の預け地、篠島・日間賀島　木原　克之
堀河散策記(1)　住吉神社と宮宿・七里の渡し—尾張の豪商・前野小平治ゆかりの地を訪ねて　丸山　専治
昭和時代の思いで　松本　英一
穂水紋あれこれ　加藤喜代吉
山頭火没後の「層雲」と橋本健三（後）　大岩　隆
中世、須佐(豊浜)は知多半島の表玄関だった？　村田　修
平成21年度南知多町山海における総会並びに研修会　丸山　専治
南知多の人　石黒鐘二　磯部　宅成

◆**文化誌 碧**　碧の会
〒446-0013愛知県安城市東別所町戊新畑1-53　河村方　℡0566-76-0204
◇**26**　2009.11　B5　44p　500円（抄）
カシノナガキクイムシ　中城　積
多武峰の「百味の御食の事」　久世　郁子
脱脂粉乳について　粕渕　宏昭
ハノイ・ハロン湾食紀行　嶋野　卓
エッセー
川端雑記　○九・秋　米川　五郎
政治についての感想　八重田和久
意識世界の極北を目指して(1)—河村和男・砂村洋の歩んだ道　砂村　洋

◆**蓬 左**　名古屋市蓬左文庫
〒461-0023名古屋市東区徳川町1001
℡052-935-2173　housa.city.nagoya.jp
◇**79**　2009.10　A4　8p
平成21年11月18日〜12月13日　展示室1　目利きと鑑定／展示室2　江戸の歴史書—尾張藩社会と秀吉
平成21年10月7日〜11月15日　展示室1・2　徳川美術館　秋季特別展　戦国ふぁっしょん—武将の美学
平成22年1月5日〜2月14日　展示室1　江戸の好古趣味／展示室2　島原の乱—その攻略と陣形
平成22年2月17日〜4月4日　展示室1　尾張徳川家の宝物目録—蔵帳にしるされた品々／展示室2　幕末情報学—「青窓紀聞」にみる長州征伐
合戦図をさぐる

◆**まつり通信**　まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
℡0567-37-0441　年5000円
◇**543**（49-5）2009.9　B5　10p　600円
東海民俗公開講演要旨　盆唄の伝承—「盆ならさん」の系譜　大島　建彦
東海民俗発表要約(続)　中濃地方の講七事例—聞き取り調査を中心として　土屋　一
桑名石取祭の現状—組織と年齢階梯的役割　浅井亜矢子
秩父・奈良尾の獅子舞　石川　博司
民俗芸能公演情報／第51回平成21年度ブロック別民俗芸能大会出演芸能紹介／ユネスコ無形文化遺産

◇544（49-6）2009.11　B5　8p　600円
中国安徽省の中秋節　沼崎　麻矢
調査報告　宮島の民俗行事・たの
もさん(四之宮神社例祭)　米田　幸寿
能郷の能・狂言　黒田　幹夫
民俗芸能情報
◇545（50-1）2010.1　B5　8p　600円
群馬・上新田の獅子舞　石川　博司
八葉寺(播磨地域)の鬼追い　藤原喜美子
参候祭り見学の記　鷺野　正昭

◆織豊期研究　織豊期研究会
〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577
三重大学教育学部　日本史研究室内
TEL059-231-9218
◇11　2009.10　B5　107p　1400円
《特集　『織豊期研究』第10号刊行記念シンポ
ジウム「織豊期の史料と権力」》
記念講演
豊臣秀吉文書の史料学的考察　三鬼清一郎
織田氏嫡流の形成と五山文学　斎藤　夏来
織豊期における書札札故実の集積
と、近世故実書の成立への展開
—曽我尚祐『和筒礼経』を中心
に　小久保嘉紀
豊臣期本願寺の吏僚
—益田少将発給文書から　太田　光俊
検地帳と権力　谷口　央
「戦功書上」の成立について　長屋　隆幸
討　論
『織豊期研究』総目録（創刊号～
第10号）

◆史　料　皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462
◇223　2009.10　B5　6p　200円
長門国の「国人」三井氏関係史料
惠良　宏
いにしえの伊勢(4)—絵葉書・古
写真に見る戦前の宇治山田　山田　修司

近　畿

◆湖国と文化　(財)滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
TEL077-522-8369　年3160円
www.shiga-bunshin.or.jp
◇129　2009.10　B5　92p　630円
《特集　燦然、琵琶湖ブランド》
滋賀・琵琶湖ブランドの構築に向
けて　嘉田由紀子
過去の琵琶湖ブランド　木村　至宏
現在の琵琶湖ブランド　滋賀・琵
琶湖ブランド構築に向けて
滋賀県企画調整課
未来の琵琶湖ブランド　中井　保
湖国レディス・アイ(20)　すい蔵
がん？　生まれて初めての精密
検査体験記　日比野容子
滋賀のかくれ里(13)　金勝山をめ
ぐって(3)　金勝寺から狛坂磨
崖仏へ　いかいゆり子
興味津津　私の近江(5)
近江商人とは何だったのか　MOTOKO
あの町この町(26)　西浅井町　今関　信子
滋賀の伝説と民話「美し松」
渡邊守順／斉藤裕子
湖國藝術紀行(2)
映画「火火」雑話　中井二三雄
編集長対談　湖に生きる(34)
県会議員　蔦田恵子さん
根津眞澄／馬場和実
ふるさと四季の味(25)　ホクホク、
甘みのあるかぼちゃパワー　小川　久子
続・ふるさと歴史散歩
「愛染明王」—湖北町伊部　早藤　貞二

近江人物伝(32)　北村幽安　木村　至宏
湖国　人・物・風景(18)　近江戦
国の雄浅井長政と天才芸術家た
ちの奇しき縁　苗村　和正
ごきげんさん(30)
鬼師　美濃部哲郎さん　辻村　琴美
近江の海　おーい老いと呼んでみ
る(18)　ウグイスに挑戦！　熊谷栄三郎
北から南から　岸野洋／今井信／奥田安都佐
江竜喜信／西川清子／袖森茂
湖国サロン(読者の広場)
愛蘭けいさんに魅せられて　奥野寿美子
再発見！滋賀の文学(8)　教科書
に見る滋賀ゆかりの文学(8)　井上　次雄
やんちゃ坊主伝　戦中戦後編(8)
勤労動員　高橋　勉
大谷昭宏のハートツーハート(23)
家族を祖国を、ふるさとを愛し
た安蘭けい　大谷　昭宏
水源の森を訪ねて(28)　芹川　檀上　俊雄
伝承に見る淡海(26)　倭姫命の日
雲宮は甲賀のどの地であったの
だろう…　黄地百合子

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100
www.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇86　2009.9　A4　4p
テーマ展　井伊家伝来の馬具／直
弼発見！巻の９　井伊直弼の茶
の湯—好みの道具／直弼発見！
特別企画展　政治の時代—井伊
直弼と幕末の群像／テーマ展
日本の楽器—井伊家伝来雅楽器
から
直弼発見！　特別企画展　政治の
時代—井伊直弼と幕末の群像／
特別企画展関連事業／直弼かる
た　作成中！

◆民俗文化　滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414　年4800円
◇552　2009.9　B5　12p　420円
海の猿田彦大神
—巨根の海神と金精さまと　北野　晃
観音寺騒動顛末考(前)　中村　武三
奥琵琶湖周辺の伝承(3)—菅浦の
淳仁天皇御陵と湖北の女　馬場杉右衛門
桑下城第三郭群見学記
—瀬戸市品野町　長谷川博美
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(7)　奥山　芳夫
ネギについて　粕渕　宏昭
蒲鉾について　粕渕　宏昭
◇553　2009.10　B5　12p　420円
信仰よりも経済を優先する社会現
象について—葬式が葬祭業者任
せになった現状　菅沼晃次郎
アツチ山新考　北野　晃
観音寺騒動顛末考(後)　中村　武三
奥琵琶湖周辺の伝承(4)—塩津
谷・南朝忠臣の墓と湖底の浜村
馬場杉右衛門
滋賀県下の高校クラブ活動におけ
る民俗調査　馬場杉右衛門
「まつかさ」について　粕渕　宏昭
炭火アイロンについて　粕渕　宏昭
屠蘇散について　粕渕　宏昭
徳川家康の今井の陣所
—神奈川県小田原市　長谷川博美
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(8)　奥山　芳夫
◇554　2009.11　B5　12p　420円
日本人のタテマエ(政治)とホンネ

（経済）について　菅沼晃次郎
古文書・書蹟の真贋判定の問題
—書相鑑別法の適用　中村　武三
奥琵琶湖周辺の伝承(5)—海津・
松平大弐灰塚と大力お釜　馬場杉右衛門
「高宮ささら」について
—彦根市高宮町　粕渕　宏昭
「猫鳴き玩具」について　粕渕　宏昭
近江の丸馬出しと長浜武田氏伝承
長谷川博美
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(9)　奥山　芳夫
近江と柳田民俗学　馬場杉右衛門

◆京都市政史編さん通信
京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1　京都市歴史資料館内
℡075-241-4312　city.kYoto.jp/somu/rekishi/
◇36　2009.11　A4　8p
こんどの『京都市政史』は面白い
牧　英正
片岡直温と京都(1)　奈良岡聰智

◆京都府立総合資料館だより
〒606-0823京都市左京区下鴨半木町1-4
℡075-723-4831
www.pref.kyoto.jp/shiryokan/
◇161　2009.10　A4　10p
「北山から未来へ」総合資料館・
府立大学・植物園　包括協定締
結記念事業
包括協定締結記念事業「北山から
未来へ」開催の御案内
文献課の窓から
身代わりとなった植物園
歴史資料課の窓から　行政文書に
みる京都　公文書管理法の制度
と公文書館制度—区民共有の知
的資源はどのように利用される
のか　渡辺　佳子
最近の収集資料から（平成20年6月
～8月）

◆古代史の海　「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島粟田町22
中村修方　FAX075-392-3743　年4000円
www.geocities.jp/kodaishinoumi2005/
◇57　2009.9　A5　96p　1500円
巻頭言　世界史の共通紀元　半沢　英一
「大津京」論の現在と駅名改変　櫻井　信也
上代特殊仮名の根本的解明(12)　坂田　隆
会員ひろば　アンデス通信(10)　市木　尚利
会員ひろば　新刊紹介『蘇我三代
と二つの飛鳥』　上遠野浩一
「三角縁神獣鏡魏鏡説」は危機に
瀕しているか　下司　和男
失われた阿波の石棚を持つ古墳
—平山大塚古墳　重村　英雄
茨木と佐保　中村　修
広瀬和雄『前方後円墳国家』（四・
五章）を読んで　河野　宏文

◆史迹と美術　史迹美術同攷会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146　中西ビル内
FAX075-441-3159　年8000円
◇798（79-8）2009.9　A5　36p　915円
宮城県大崎市岩出山絵図沢権現堂
の風神像懸仏　石黒伸一朗
上林湖窯遺蹟訪問記　村上　泰昭
鬼瓦百選(77)　小林　章男
鰐口の銘文(8)　愛甲　昇寛
第937回例会　藤森神社と伏見の
文化財を訪ねる　矢ヶ崎善太郎
口絵写真説明　高松城艮櫓　中西　亨

中西名誉会長の日記が新聞に紹介
される　矢ヶ崎善太郎
◇799（79-9）2009.11　A5　28p　915円
駿府周辺の帰化人秦氏　佐藤　郁太
鬼瓦百選(78)　小林　章男
論語に現れた建築様式　寺本　健三
鰐口の銘文(9)　愛甲　昇寛
第938回例会　黒谷さん（金威光明
寺）を訪ねて　加藤　友規
新刊紹介　石造美術探訪記Ⅶ-1
『埼玉県北西部の図像板碑』（村
田和義著）　中西　亨

◆都藝泥布　京都地名研究会通信
〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田12-
46　綱本逸雄方　℡075-933-5667　年3000
円　www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇30　2009.11　A4　8p
第25回地名フォーラム報告　西国
三十三所観音巡礼と京の寺院
（山嵜泰正）／院政期の記録・
文学における京都の地名（安藤
哲郎）／次世代への地名学（山
口均）
第26回京都地名フォーラム
テーマ：南山城の地名
会員動向紹介　糸井通浩編『日本
語表現学を学ぶ人のために』

◆やましろ　城南郷土史研究会
〒619-0204京都府木津川市山城町上狛南野
田芝29　中津川方　℡0774-86-3262
◇23　2009.10　B5　136p　1200円
「神尾寺」と木津天神山をめぐる
トポス　伊藤　太
木津川市市坂墓地の石造美術　篠原　良吉
浅田家文書と南山城研究『近
世・近代の南山城—綿作から茶
業へ—』を読もう　田中淳一郎
浅田家文書雑感(2)
その後の「おでんちゃん」　浅田　周宏
子どもたちの地域史(6)　南加茂
台小学校六年生の「加茂遺産め
ぐり」　井上千里／大村和広
鹿背山通信(4)
—鹿背山不動さん管理の変遷　田辺　英夫
南山城文学誌のあわさい(3)
応神は酒のはじめ　古川　章
追悼　坂本利孝さん
“どなたさんも、ご苦労さんで
す”—村の生活と文化の継承
芝野　康之
古文書を読む助役さん　橘　尚彦
南山城の本—紹介・批評・鑑賞
新たに重文指定を受けた石清水
八幡宮境内建造物『石清水
八幡宮諸建造物群調査報告
書』　江本　東一
夫の戦死 子育て 歌は生きるし
るし　大西喜美榮短歌集『戦
の痛み』　小西　亘
夫の戦死 子育て 歌は生きるし
るし　大西喜美榮さんのこと
中津川敬朗
奈良電狛田駅での機銃掃射事件と
祝園部隊からの救援出動(1)　柴田　保彦
城陽市五島池と人々の暮らし　天
井川に挟まれた青谷地区の古老
に聞く　梅原恭仁子
中学生いまむかし（上）—山城中学
校での60年間の調査から　赤塚　康雄
木津高校校歌史考—「きほふ」か
ら「きほう」へ、そして「競
う」へ　赤塚　康雄
南山城地域の仏像　参考文献集成
—11世紀篇　八田　達男

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
℡075-465-8151
www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/
◇47（17-1）2009.8　A4　20p
スポット　防毒面のカフスボタン
巻頭つれづれ　あらためて問われる非戦・被差別の思想　安斎　育郎
館長だより　国家・民族、自立と共存の愛国心　高杉　巴彦
ミニ企画展開催報告（2009年4月～2009年7月）
ここが見どころ　ベトナム戦争とアジアの未来―「民主主義」と「女性力」　桂　良太郎
運営委員リレー連載　博物館からの情報提供に求められるもの　八村広三郎
ミュージアムおすすめの一冊　藤木久志著『新版　雑兵たちの戦場：中世の傭兵と奴隷狩り』（朝日新聞出版　2005年6月10日刊）
事業報告　2009年度春季特別展岡部伊都子回顧展／映画「アメリカばんざい―crazy as usual」上映会

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方　℡0724-28-0204　年1200円
◇261　2009.9　B5　14p
大河ドラマ「天地人」直江兼続の実像にせまる　廣田　浩治
「根来政権」と民衆（7）　井田　寿邦
合祀神社（3）　上田　繁之
◇262　2009.10　B5　12p
いづみや楽器店　辻久雄／北山理
合祀神社（4）　上田　繁之
移行期の群像（67）寺僧の人々（28）　井田　寿邦
◇263　2009.11　B5　12p
大阪府南部の温泉（源泉）の開発（1）　岸田　修一
「根来政権」と民衆（8）　井田　寿邦
合祀神社（5）　上田　繁之

◆大阪歴史懇談会会報
〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号
FAX0724-38-4487　年5000円
www.homepage2.nifty.com/rekikon/
◇301（26-9）2009.9　B5　12p
巻頭言　広域行政の促進に思う（下）　松坂　定徳
8月例会報告（第276回）「川路聖謨と『植桜楓之碑』そして『北方領土問題』」入野清氏／第25回大阪歴史懇談会定時総会
見学会こぼれ話（10）　源氏物語千年紀によせて「我輩は平安貴族の猫である」　稲垣　隆造
◇302（26-10）2009.10　B5　12p
巻頭言　「民の安らぎ」は何時みのる　わが国の二〇〇年史（上）　榧野　敏男
9月例会報告（第277回）「日本人の心を再認識しよう」平井直治氏／古文書講座（第119回）「文政十二年江戸大火」石川道子氏
見学会報告　生野区の史跡廻り　吉川　三郎
涼風史談　今福合戦の資料を求めて（下）　田村　紘一
予科練「海軍甲種飛行予科練習生」の体験者に聴く　松坂　定徳
見学会こぼれ話（11）　源氏物語千年紀によせて「若紫・紫式部と道長は向こう三軒両隣」　稲垣　隆造
◇303（26-11）2009.11　B5　12p
巻頭言　「民の安らぎ」は何時みのる　わが国の二〇〇年史（中）　榧野　敏男
10月例会報告（第278回）「幕末における被差別民の敵討ちについて」片倉穣氏　小池栄之輔
満蒙開拓青少年義勇軍　池田市から送出された少年（続）（上）　室田　卓雄
予科練「海軍甲種飛行予科練習生」の体験者に聴く　松坂　定徳
軍隊生活で忘れられない思い出の一つ―田中守軍曹と愛馬沼桐号　西村　彦次

◆大塩研究　大塩事件研究会
〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内　℡06-6361-6212
◇61　2009.9　A5　108p
この言葉（26）　千年の雪は千年の月に映ず、況んやまた紅輪（太陽）未だ暁に昇らず。下界は秖だ今夢寐のごとく、沈頭暗々たり五更の燈。　白井　孝彦
山崎國紀先生に聞く―『評伝　森鴎外』に寄せて　酒井　一
佐藤一斎の実学と大塩平八郎の孔孟学　森田　康夫
大塩事件と吉見英太郎（中）　倉島　幸雄
大塩と私（11）　西山清雄氏に聞く　酒井　一
大塩平八郎と近くの酒屋　亭島　吉秀
平八郎の真実　小西　利子
講座「民衆史を学び歌う―日本の革命歌から百年」について　久保　在久

◆かいづか文化財だより テンプス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
℡072-433-7126
◇39　2009.10　A4　8p
願泉寺表門の彫刻
願泉寺表門の石材
願泉寺築地塀前面の側溝の発掘調査
市内の古文書調査から　南川家文書（木積）
古絵図をひも解く　根福寺城絵図（岸和田市教育委員会所蔵）
古文書講座（第33回）開催のお知らせ「岸和田藩の七人庄屋―苗字・帯刀と格式―」／第88回かいづか歴史文化セミナー報告「重要文化財願泉寺と貝塚寺内町現地見学会」を開催しました

◆家系研究　家系研究協議会
〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
島野穣方　℡072-634-5909　年5000円
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇48　2009.10　B5　123p
系図資料　『姓氏原始録』（11）　武田　光弘
『清良記』の土居清良の家系―附、伊予西園寺氏の系譜　宝賀　寿男
珍姓のルーツ（13）　中田みのる
続江戸期以前より見られる珍姓奇姓（3）　安原　繁俊
“大浦氏の出自”と“二つの南部の流れ”（3）　吉井　功兒
一千年を紡いだ薩摩国の刀鍛冶史　鍛って候（4）　浪平　博司
真説津軽為信物語（前）―大石内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤か、時慶卿記の真実　佐藤　博
掛川藩家老須貝氏の系譜　須貝　隆弘
終戦前後の参謀と兵隊　西村　彦次

日本人と「七仏」の謎
　日本七仏の謎(2)　川村　一彦
コラム　ここでちょっとコーヒー
　ブレイク「エビちゃん、モエち
　ゃん」　馬原　浩一
奇名変名大集合・変名編
　巻九　扇原氏　眞野　幹也

◆家系研究協議会会報
　〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
　島野穣方　℡072-634-5909　年5000円
　www.geocities.jp/kakenkyou/
◇30　2009.10　B5　8p
『天地人』効果　斎藤　秀幸
家系研究協議会　平成21年度夏の
　例会報告
主催　家系研究協議会　見学会報
　告　島野　穣
珍名さんいらっしゃい(27)　眞野　幹也
推薦します！！新刊書『みちのく
　の姓氏　鹿角人のルーツ』　斎藤　秀幸
家研協たより／図書出版案内／受
　贈図書・資料

◆河童通心　和田寛
　〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
　℡072-251-2586　年2400円
◇311　2009.9　A5　10p
御堀端の河童と大川端の河童　和田　寛
◇312　2009.10　A5　10p
浅草界隈と河童　和田　寛
◇313　2009.11　A5　10p
鎌倉権五郎と弾左衛門、そして河
　童　和田　寛

◆近畿文化　近畿文化会
　〒543-0021大阪市天王寺区東高津町11-9
　日本生命上本町ビル５階
　℡06-4304-7433　年2200円
◇718　2009.9　A4　10p　300円
中世都市奈良の極楽・地獄　狭川　真一
生駒山西麓の縄文時代遺跡　松田　真一
◇719　2009.10　A4　8p　300円
丹後の古寺と仏像(1)　関根　俊一
京都北山の古寺と美山の茅葺民家
　矢ヶ崎善太郎
◇720　2009.11　A4　8p　300円
大津皇子と二上山　来村多加史
南山城木津川の史跡　田中　嗣人
姿を顕した女神—佐保姫の誕生　赤川　一博

◆近畿民俗通信　近畿民俗学会
　〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
　原泰根方　℡06-6709-8533
◇1　2009.9　A4　6p
『近畿民俗通信』の創刊にあたっ
　て　原　泰根
総会報告　田中　明
大阪の風流太鼓踊について　森　成元
祭り・行事・展覧会

◆左海民俗　堺民俗会
　〒593-8302堺市西区北条町2-10-18
　生駒道弘方　℡072-277-6331　年3000円
◇131　2009.9　B5　12p
《特集　厠・トイレ》
便所と糞尿　森井　淳吉
チョット丸亀　堀家　重子
絵草紙に見る厠考　岸　繁司
厠のあれこれ　川村　淳二
便所物語　生駒　道弘
寒冷地のトイレ事情　佐原　浩二
第63回総会報告
熊野詣でと懸け仏
　阿須賀神社物語　生駒　道弘
廃線跡を歩く　堀家　重子

例会報告と一口メモ
　3月例会報告　堺旧港歴史巡り　森村　健一
　4月例会報告
　　旧福知山線廃線跡歩き　熊ノ郷安生
　5月例会報告
　　平城京—万葉歌碑を巡るⅤ　下谷　佐吉
　6月例会報告　伏見稲荷大社と
　　伏見の歴史散歩　川村　淳二

◆つどい　豊中歴史同好会
　〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
　山口久幸方　℡06-6857-4959
　homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇260　2009.9　B5　16p
五世紀のヤマト政権とコシ(越)　中司　照世
野洲銅鐸博物館と桜生史跡公園を
　訪ねる　小川　滋
◇261　2009.10　B5　16p
五世紀のヤマト政権と日向　塚口　義信
佐紀古墳群を歩く　野村　武司
考古学の基礎講座／読書室『日本
　書紀〈神代巻〉を読む』
◇262　2009.11　B5　16p
五世紀のヤマト政権と三尾氏　水谷　千秋
豊嶋郡の「織姫伝承」について—
　クレハトリ・アヤハトリ（漢氏
　の伝承）　金谷　健一
塚口先生と行く若狭・丹後・但馬
　の古代史を探る旅(2)　古高　邦子

◆ヒストリア　大阪歴史学会
　〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
　関西大学文学部　西本昌弘気付
　wwwsoc.nii.ac.jp/historia/
◇216　2009.8　A5　216p　1000円
《特集　平野屋新田会所と近世河内平野の新
　田開発》
特集にあたって　大阪歴史学会委員会
河内平野の新田開発と会所　岸本　直文
深津惣新田の再編と平野屋新田会
　所の建設　井上　伸一
平野屋新田会所の発掘調査　黒田　淳
平野屋新田会所の屋敷構成と建築
　吉田　高子
商都大坂と新田開発会所のシステ
　ム—遺構主義からシステム主義
　へ　伊藤　正義
平野屋新田会所跡の語るもの
　—その意義と課題　藪田　貫
弘化・嘉永期における海防掛の対
　外政策構想—異国船取扱方を中
　心に　後藤　敦史
ＬＴ貿易の軌跡—官製日中「民間」
　貿易協定が目指したもの　木村　隆和
六人部是香と「六人部連本系帳」吉川　敏子
わたしたちの文化財
　安中新田会所跡旧植田家住宅　吉田　珠己
報　告
　宮内庁書陵部との懇談会2009　企画委員会
　大阪中央郵便局庁舎の保存問題
　長山　雅一
2009年度大会・総会の記録
◇217　2009.10　A5　246p　1000円
《特集
　幕末京都口の関門—枚方・楠葉台遺跡》
特集にあたって　大阪歴史学会委員会
楠葉台場(関門)の理解のために　岸本　直文
幕末の政治情勢と会津藩　家近　良樹
楠葉台場以前の大坂湾防備
　—安政期を中心に　後藤　敦史
楠葉台場の範囲確認調査　竹原　伸二
淀川警衛体制と京都守護職会津藩
　の関門構想　馬部　隆弘
梶原台場の歴史と構造　中西　裕樹
摂海御台場築立御用における大坂
　町奉行の位置　高久　智広

大阪湾岸の台場跡　企画委員会
年紀制の消長と唐人来着定
—平安時代貿易管理制度再考　渡邊　誠
後高倉王家の政治的位置—後堀河
親政期における北白河院の動向
を中心に　曽我部　愛
幕府広域役の命令と情報の伝達—
琉球使節通航時の綱引役の場合
飯沼　雅行
民間人ブレーントラストの設立と
日本海軍　手嶋　泰伸
わたしたちの文化財　明石藩舞子
台場跡—発掘調査と保存・史跡
指定　山本　雅和
報　告
2009年度「第25回歴史学入門講
座」の記録　橋村　淳一
シンポジウム「地域資料の保存
と活用を考える」(第3回)参
加記　本井優太郎

◆歴史考古学　歴史考古学研究会
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方　TEL072-331-6679　年3000円
1978年創刊
◇61　2009.10　B5　84p
書写山円教寺石造物調査から(2)
町石板碑と法華経品題板碑
歴史考古学研究会研究部会
「大工伊行元」銘を刻む石造宝塔
市田進一／篠原良吉／松永修輔
天台安楽律院・霊空とその石塔　三木　治子
奈良北東部の十九夜念仏について
—和讃と石造遺品からみた伝播
を中心にして　奥村　隆彦
三斎板碑　濱田　謙次
2008年(平成20年)度　研究会(現
地調査)概況／2008年(平成20
年)度　例会発表抄録

◆歴史懇談　大阪歴史懇談会
〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号
FAX0724-38-4487　年5000円
www.homepage2.nifty.com/rekikon/
◇23　2009.8　B5　147p　2000円
《創立25周年記念号》
ご挨拶—創立25周年にあたって　松坂　定徳
大阪歴史懇談会創立25周年記念
お祝いのことば　吉成　勇
創立25周年　心よりお祝い申し上
げます　梅村　伸雄
大阪歴史懇談会設立25周年へのお
祝い　柴谷　武爾
25周年のお祝いに寄せて　渡辺　武
創立25周年によせて　石川　道子
大阪歴史懇談会四半世紀の想い出
田村　紘一
ご挨拶—大阪歴史懇談会の25周年
記念号の寄稿の感謝　榧野　敏男
20周年記念大会の思い出スクラッ
プ　清原　尚子
特別寄稿
あやしげな鎮魂（追い出しの思
想）　中路　正恒
講演録(抄)
日本のなかの大阪文化遺産　高橋　隆博
玉山金山(3)　松坂　定徳
石見吉川家十代目　吉川式部少輔
経家(5)　田村　紘一
茨木市郡の小字名　「実盛」と「宗
清林」に関する考察　島野　穣
古墳への道案内　松本　正彦
早良親王について　吉川　三郎
登州開元寺で繋がった歴史の環
日本使節高元度と留学僧円仁の
接点　上田　雄

歴史随想　ニールスの民　六千年
の流れに惟う　吉井　功兒
「山田方谷、上杉鷹山」に学ぶ　中澤　祐一
忘れえぬ一日に感謝　大阪歴懇春
の見学会　関西大学キャンパス
安居　隆行
イラク戦争の史的背景
—中東を旅して思う　渡邊　武美
「憲法十七条」の作者問題を論ず
(下)　小林　司
大政奉還とその後の徳川慶喜(前)
入野　清
「生類憐れみの令」の実態　山崎　保雄
〈戦前・戦後回顧特集〉
騎兵第四連隊一兵士の証言　西村　彦次
満蒙開拓青少年義勇軍—池田から
送り出された少年たち　室田　卓雄
愛新覚羅溥儀氏の不幸　丸山　猛
堺大空襲と私　汐見や寿子
戦後日本の群像Ⅲ（昭和28年～30
年）　戦後日本を支えた人々　川村　一彦
阪神優勝へ快走だ
なんば線開業の年　岡田　良章
平成20年度のあゆみ　磯崎　素子
コラム　独り言つ
にほんごきとく／神への供物　井川　光正
戦時捕虜・戦後抑留・平時拉致
／靖国神社の大きな役割／三
好芥川城の武者行列に児童た
ち／入会ご案内　榧野　敏男

◆地域史研究　尼崎市立地域研究史料館紀要
〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16
総合文化センター７階　TEL06-6482-5246
www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp
◇108（39-1）2009.9　A5　106p　850円
鎌倉後期の尼崎—長洲荘「悪党」
教念・教性の活動を通じて　大村　拓生
尼崎と熊本を結ぶ貴田玄蕃　境　眞旗男
家出人は帰ってきたか　菅原　敏二
あまがさき城内フォーラム　旧尼
崎警察署建物保存活用ミニシン
ポジウムの記録
岡崎勝宏／笠原一人／綱本琴
誌上レファレンス　地域研究史料館
平成20年度地域研究史料館事業報
告　地域研究史料館
尼崎関係新着史料・文献・歴史論
文紹介

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内　TEL0798-33-0321
◇498　2009.9　B5　8p
比叡山祖師の道　吉井　貞俊
ちょっと昔の話(13)
旧い商店街の話　楠井　都志
伊勢参宮本街道を歩く(36)／平成
版東海道五拾三次　吉井　貞俊
◇499　2009.10　B5　8p
10月行事案内　西宮神社観月祭
上方舞(地唄舞)・山村流について
山下　忠男
西宮神社吟行句　阪口　昌弘
ちょっと昔の話(14)
浜脇小学校時代の思ひ出　楠井　都志
伊勢参宮本街道を歩く(37)／平成
版東海道五拾三次　吉井　貞俊
◇500　2009.11　B5　8p
11月行事案内　講演会　六英堂物
語—西宮神社・岩倉具視旧居の
なぞ　楠本利夫先生
500号記念グラフ　昭和43年～昭
和63年(会報1号～250号)／平
成元年～平成21年(会報251号～
500号)

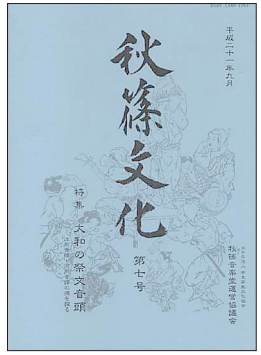
伊勢参宮本街道を歩く(37)／平成
　版東海道五拾三次　　吉井　貞俊

◆LINK 地域・大学・文化　神戸大学大学院
　人文学研究科地域連携センター年報
　〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1　TEL078-
　803-5566　www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/
◇1　2009.8　B5　158p
《創刊特集　大学は地域の歴史文化にどうか
　かわるのか—地域連携の成果と課題—》
特集にあたって　　編集委員会
大学と地域連携—関西大学なにわ
　・大阪文化遺産学研究センター
　の取組みを通して　　藪田　貫
佐賀大学地域学歴史文化研究セン
　ターの活動と地域　　伊藤　昭弘
教員養成ＧＰのその後—高大連携
　に基づく「地歴科教育論」の開
　講　　藤田　裕嗣
尼崎市立地域研究史料館にとって
　の地域連携　　辻川　敦
地域歴史文化における大学の役割
　—神戸大学と小野市の連携を中
　心に　　奥村　弘
近世における大規模河川井堰の構
　造と変容—但馬国出石郡口矢根
　村・出石川大井堰をめぐって　木村　修二
神戸市北区山田町藍那地区におけ
　る昭和30年代の生業記録—稲作
　を中心に　　森田　竜雄
フィールドリポート
　いひほ学研究会—地域の歴史文
　　化遺産を活かした未来への助
　　走　　岸本　道昭
　「羽束の回廊歴史フォーラム」
　　の活動と大学の地域連携活動
　　についての私見　　印藤　昭一
　民と民をつなぐ震災資料—人と
　　防災未来センター所蔵資料の
　　事例から　　高野　尚子
時評・書評
　「LINK」に寄せて　　市沢　哲
　坂江渉編著『風土記からみる古
　　代の播磨』　　森岡　秀人
報告　神戸大学大学院人文学研究
　科地域連携センター活動紹介

◆歴史と神戸　神戸史学会
　〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4　田中
　印刷出版内　TEL078-871-0555　年3000円
◇276（48-5）2009.10　A5　49p　600円
〈高田屋嘉兵衛の新研究〉
高田屋嘉兵衛の手船と浜田客船帳
　について—浜田客船帳の高田屋
　嘉兵衛手船を分析して　　北山　學
高田屋嘉兵衛研究の動向と文献一
　覧　　大国　正美
平氏政権の成立とその原因
　—清盛と建春門院　　中島　豊
中世興福寺の大衆統制　　檜垣　和志
聞き書き　ありし日のまちと暮ら
　し(31)　もうひとつの力道山ア
　パート　　井上眞理子
兵庫県にかかわる
　古典文学総覧索引　　宮崎修二朗

◆あかい奈良　グループ丹
　〒630-8144奈良市東九条町6-4　TEL0742-62-
　3408　年2500円　www.akai-nara.net
◇45　2009.9　A4　46p　500円
特集　五風舎と奈良の若き工芸家
　たち　鉄　安宅礦平さん／ガラ
　ス　川北成彦さん／陶器　平井
　明さん／漆　北村繁さん、小西
　寧子さん
あかい奈良が行く古社寺巡礼
　橿原市　白屋八幡神社
あをによし奈良の建造物　美の理
　由(1)　世界でもっとも美しい
　薬師寺三重塔　　鈴木　嘉吉
奈良の伝統行事　レンズがとらえ
　てた大和の祭り　櫛玉比女命神
　社　戸立祭
心の風景　室生　龍穴祭
　　井上博道／西村博美
あかい奈良インタビュー
　歴史学者　直木孝次郎氏
大和彩食館　菊水楼が創る秋の膳
　—菊とナス
特集　奈良奉行　川路聖謨の生涯
　—母に送った手紙日記より
大和ものまんだら
　杖—神の杖・人の杖　　鹿谷　勲
季の瞬　秋麗　　矢野建彦／矢野桃苑

◆秋篠文化　秋篠音楽堂運営協議会
　〒631-8511奈良市西大寺東町2-4-1
　ならファミリー６階　TEL0742-35-7070
◇7　2009.9　A5　154p
《特集　大和の祭文音頭
　江州音頭・河内音頭の源を探る》
祭文から音頭へ
　—その源流と変遷　　久保田敏子
席の芸と櫓の芸
　—江州・河内オンドロジー　　村井　市郎
村井先生と秋篠音楽堂　　岡本　彰夫
講演記録
　大和の祭文音楽とその系類　　村井　市郎
資料　大和の祭文音楽とその＊系
　類—江州音頭の祖先の領域等／
　大和と江州音頭—節のいろいろ
　／大和の祭文音頭—江州音頭の
　源を探る
付録　講演録音「大和と江州音頭
　(続)—節のいろいろ他」／実況
　録画「大和の祭文音頭—江州音
　頭の源を探る」



＊秋篠音楽堂運営協議会は平成12年に、文化の振興と地域交流の促進に寄与することを目的に設立された。その伝統芸能部会では、大和に伝わる芸能・行事の保存、伝承のため、研究誌の刊行、特別公演会の開催などの活動を続けている。本特集は、昨年3月の公演会「大和の祭文音頭—江州音頭の源を探る」の内容をまとめたものである。「（資料）大和の祭文音頭とその＊系類」によれば、江州音頭が出来るまでの系譜は、古代に山伏の祭文であったものが、中世に歌謡の影響を受けて歌祭文となり、近世に踊りの要素が加わって、祭文踊りと呼ばれる音頭を用いた盆踊りに、さらに、新内の影響が加わり、近代に至って江州

音頭となったもののようである。公演の様子は、付録として添付された2枚のDVDで楽しむことができる。それらを聴けば、河内音頭や八木節など、全国の様々な音頭や盆踊り歌の源流となっていることが伺い知れる。冒頭の論考で、久保田敏子氏は、「本来、芸能は流転しながら継承されていくもので、特に娯楽性豊な音頭の類は、時代の変化に敏感に反応しつつ、また時代を牽引しつつ変身を続けていく要素が強い。」と指摘している。DVDには、既に廃れてしまった音頭も、今回の公演で特別に復元されて収録されており、記録としても貴重である。さらに、祭文研究の第一人者で、この公演会直後に急逝された村井市郎氏の講演記録がCDで付されている。

◆奈良歴史研究　奈良歴史研究会
〒632-8510奈良県天理市杣之内町1050
天理大学文学部　吉井敏幸気付
TEL0743-63-7246　1972年創刊
◇72　2009.9　B5　26p
覚書・近世和州田原本の宗教的様態—浄照寺蔵「本覚院殿百五十回忌諸事控」より　河野　昭昌
紹介　河野昭昌・佐々木重麿・佐々木泰麿編『浄照寺文書　翻刻版』全三巻　奥本　武裕

◆吉野路アラカルト　樋口昌徳
〒638-0001奈良県吉野郡下市町阿知賀3290
TEL0747-52-9098
◇2　2009.9　A5　20p
近鉄吉野線各駅停車(1)「吉野口駅」とその周辺—御所市古瀬
新緑萌える北山郷を訪ねて
ダムのある風景(1)
宮奥ダム—宇陀市大宇陀地区
ユリの話
創作(2)　墓の瀬—下市町野々熊
民謡　鎌倉節
図書紹介　『新町と松倉豊後守重政　四〇〇年記念誌』
にゅーすNOW　「五條新町通り古民家改修でまちづくり」／『吉野路アラカルト』の紹介
植物　マタタビ
我が家所蔵の品々(2)
日野草城と水原秋桜子の短冊

◆Regional
奈良県立同和問題関係史料センター
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
TEL0742-64-1488
◇12　2009.9　A5　42p
特集　史料紹介　大和郡山市池之内町奥西家文書—明治前半期の小学校教育と被差別部落
凡例／細目次／史料／解説

◆LUCIFER　ルシファー　水平社博物館
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇12　2009.10　A5　52p
第9回企画展「『同和』教育の原点を探る—反差別の視点から—」を開催して　駒井　忠之
第12回特別展「こんなん知ってた!?はじめての部落問題」を開催して　駒井　忠之
公開講座報告
明治維新と「解放令」　吉村　智博
「同和」教育の原点を探る—反差別の視点から　寺澤　亮一

◆和歌山地方史研究　和歌山地方史研究会
〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方　年3000円
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇57　2009.8　A5　80p
名草戸畔と紀伊国造　寺西　貞弘
所謂「裳切騒動」について　波多野智人
寿永二年・三年・元暦二年における熊野別当家関係者と周辺の人々—「僧綱補任」岩瀬文庫蔵本考察を一連の考察の終論として　阪本　敏行
岩橋山塊の祭祀関連遺跡と本土決戦準備遺構—岩瀬千塚と重複する遺跡の抽出と分析　丹野　拓
「公文書等の管理に関する法律」と県内の「歴史公文書等」の保存　藤　隆宏
2009年度和歌山県内展覧会情報

中国・四国

◆中村家の会会報
〒680-0015鳥取市上町41　中村忠文方
TEL0857-23-1264　年5000円
www.nihonkai.net/nakamura/
◇31　2009.8　A4　10p
今年は、京都で「一氏公」法要を計画しました
米子城跡を整備しよう
「普平山妙興寺」について
中村一路さま金春流円満井会で当流職分初舞台／中村宗哲さま朝日新聞に紹介さる／米子、感応寺について／中村左馬介一貞について／逝去の人、喪中の人

◆北東アジア文化研究
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811　1995年創刊
◇30　2009.10　A5　94p
《研究会設立15周年記念号》
研究所設立15周年記念号の刊行に寄せて　野津　和功
短大の研究所創世紀物語　内藤　正中
遊牧の国、モンゴルを訪ねて　松田　昭美
沖縄県読谷村の都市計画における風水思想　浅井　秀子
山陰地方民の欝陵島侵入の始まり　朴　炳渉
もう一つの餅—シトギ(粢)　綾木義和／下地葵
翻訳　フレデリック　H.クライヤー「クロノロジー：問題点と課題」　大江　節子
北東アジア文化研究　第1～第30号　総目次

◆米子市史だより　米子市史編さん事務局
〒683-0822鳥取県米子市中町20
TEL0859-22-7208　1995年創刊
◇29　2009.10　A4　8p
西田税の遺書　杉本　良巳
米子市A地区の人口動態　杉本　良巳
米子の近代建築　和田　嘉宥
米子市への縁故疎開の一資料　笹間　愛史

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市磨屋町6-28　光珍寺内
TEL086-222-2028　年2000円
◇32　2009.10　A4　10p
宇喜多家と光珍寺　石渡　隆純
戸川氏と撫川うちわ　平松龍四郎
物語直家記伝　山重十五郎
◇33　2010.1　A4　10p
八丈島流人の御赦免と御家再興

—宇喜多孫九郎と岡宗益　柴田　一
豪姫ゆかりの地・金沢を訪ねて　片岡　和男
豪姫残像　黒田　一紀
秀吉と宇喜多氏家中との関係について　大西　泰正
物語直家記伝　山重十五郎
「戦国の貴公子　宇喜多秀家☆フェス」のご報告　石渡　隆純

◆岡山地方史研究　岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市西大寺2-6-36　村上岳方
TEL086-942-6156　年1500円
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇118　2009.9　B5　46p
岡山城とその城下町の形成過程—地誌「吉備前鑑」の検討を中心に　森　俊弘
〈特集　小学館『日本の歴史』(近世)を読む〉
水本邦彦著『日本の歴史　第十巻　徳川の国家デザイン』　定兼　学
倉地克直著『日本の歴史　第十一巻　徳川社会のゆらぎ』　沢山美果子
平川新著『日本の歴史　第十二巻　開国への道』　久住祐一郎
書評会に参加して
歴史と叙述の関係　森元　純一

◆岡山藩研究　岡山藩研究会
〒169-0051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学文学部　紙屋研究室内
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/
◇60　2009.10　B5　10p
〈第17回総会の記録〉
報告要旨　藩政改革と報徳仕法—烏山藩仕法にみる報徳仕法と政治文化　早田　旅人
討論要旨
参加記　早田報告を聞いて　齋藤　悦正

◆岡山民俗学会会報
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17
次田圭介方　年4000円
◇202　2009.9　B5　16p
節目の年に—再出発を　次田　圭介
平成21年度総会・研究発表大会
平成21年度研究発表大会要旨
江戸期の桃太郎噺　加原奈穂子
地域民俗資料館の社会的意義とその展望　安倉　清博
公立歴史民俗資料館の指定管理者制度導入に伴う変化と課題　吉原　睦
「山中鹿之助が述懐した備中新山(鬼ノ城)の“鬼の釜”」—加原耕作先生の『中国兵乱記』(新釈)より　尾崎　聡
例会報告
会員短信　かたわらに聞き取り調査ノートを　今田　節子

◆きび野　岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇115　2009.9　A5　18p
随　想
蓮昌寺　戸田　英二
万納屋橋をめぐって　在間　宣久
地域を大切に生きる　藤井　和佐
岡山の自然　秋の星空　中内　弘
岡山の文化財　池田光政日記　浅利　尚民
岡山の人物　国吉康雄　妹尾　克己
岡山の文学碑
蕃山先生　息游軒遺址碑　花岡　志郎
わが町・わが村の自慢　阿波八幡神社の花祭り(津山市)
岡山の匠　田中恵二(漆芸家)
地域文化創造に向けて
上寺山を良くする会(瀬戸内市)
美術館・博物館めぐり
岡山・吉兆庵美術館(岡山市)

◆美作地域史研究
美作大学地域生活科学研究所　美作地域史研究会　〒708-8511津山市北国町50
TEL0868-22-7310
◇1　2008.3　B5　23+75p
開催報告　「美作中世地域史研究を拓く—美作学への招待—」の開催について
報告資料
報告へのコメント　前原茂雄「中世美作の民衆生活」へのコメント—中世史学の立場から　苅米　一志
中世美作の村落社会　前原　茂雄
「岡本文書」所収の美作国関係中世史料　畑　和良
津山女子専門学校関係史料について—「津山女子専門学校設立期成会会則」等の紹介　渡邊　大門
「江見家記」の翻刻と解説　森　俊弘
新刊紹介　目瀬守男・富樫穎監修／美作大学地域生活科学研究所編『平成の大合併と地域社会の再編・活性化』明文書房　目瀬　守男
◇2　2009.1　B5　89p
開催報告　美作学特別講座の開催
平成20年度(第33回)学術研究振興資金の授与について　研究テーマ「岡山県下における中世村落の研究—生産・流通・宗教・生活文化を中心に—」
平成19年度(第17期)財団法人全国税理士共栄会文化財団の助成金について　研究テーマ「美作地域における伝統芸能の研究」
宮本武蔵の研究—生誕地・系譜を中心に　渡邊　大門
宮本武蔵文献目録稿　渡邊　大門
◇別冊　2009.3　A5　34p
美作地域における伝統芸能について—中近世の神楽を中心に　渡邊　大門
史料編／参考文献

◆芸備地方史研究　芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3　広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643　年3000円
◇267　2009.10　A5　62p
近世後期における安芸国真宗講中普及の影響について　沖野　清治
名勝をめぐる視覚表象の展開—鞆の浦の場合　片岡　智
新刊紹介　尾道学研究会編『尾道セピア色の記憶』　八幡　浩二
伊予史談会交流報告
動向　建国記念の日のヒロシマ(43)／鈴峯オープンカレッジの記録／新聞記事から(2003年1月～6月)／広島県の地方史研究
史跡をあるく　甲山城
芸備掲示板
第13回企画展「明治の青年と日清・日露戦争—明治の呉と海軍—」　呉市海事歴史科学館
開館30周年記念・秋の特別企画展「古代の出雲と吉備の名宝—青銅と鉄と玉と—」　広島県立歴史民俗資料館
広島市制施行120周年記念事業企画展「ヒロシマの博覧会史」　広島市公文書館
特別展「旅する民俗学者　宮本常一と広島」　広島市郷土資料館

◆備陽史探訪　備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6215
◇149　2009.8　A4　22p
芦田川の渇水に思う　田口　義之
太平記にみる笠置合戦探訪　出内　博都
南山城の水無月探訪を終えて　坂本　敏夫
南山城旅行　池田　健二
一泊バス旅行に参加して　小林　康義
水呑町の洗谷・浜貝塚　小林　定市
絶鈎史跡探訪記
田上町内史跡探訪　悠閑暮家爺
東海道五十三次ゆったり歩き紀行
(3)　藤沢宿から大磯宿へ　岡田宏一郎
横浜開港百五十年を迎えて　後藤　匡史
「石田三成の生涯をたどる」に参
加して　大本　静人
羽栗翼とその時代　根岸　尚克
遍照寺山城便り(3)　藤波平次郎
古ふんめぐり　大庭　東真
私のおすすめ本　「八朔の雪」み
をつくし料理帖　高田郁著　た た み屋
九月バス旅行のご案内
初秋の讃岐路の史跡めぐり　種本　実
◇150　2009.10　A4　22p
志川滝山合戦と芋原の大スキ　田口　義之
藤原實さんの自分史「タピアの笛」
について　大本　静人
読書案内　ぜひ読んで欲しい本で
す！『宮本常一が撮った昭和の
情景』(上巻・下巻)　岡田宏一郎
京都の大覚寺文書と末寺明王院　小林　定市
深草丘陵散策　足立捷一郎
陸の久留島(来島)氏　後藤　匡史
歴史が動いた！自民党の落日！　藤井　好玄
絶鈎史跡探訪記(2)
暮家爺山城探訪心構え　末森　清司
初秋の讃岐路の史跡めぐりに参加
して　住田　保夫
倉橋島を訪ねる　根岸　尚克
遍照寺山城便り(4)　藤波平次郎
11月バス旅行例会
下道氏と金田一耕助に出会う旅
小早川氏「家中」と椋梨氏・末近
氏—12月度バス例会によせて　木下　和司
那岐山に登った　種本　実

◆広郷土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内　TEL0823-71-0706
◇93　2009.9　A4　20p
広村今昔
明治後期の長浜の景観　上河内良平
巷談　御手洗港の遊女哀歌
緩急車雲助(久保浩之)
藤田家文書　第Q章　藤田家財産
目録・起業資料集と関連文書
(Q-1)　小栗　康治
臨時総会報告・古文書部会・例会
報告　吉田　顕治

◆みよし地方史　三次地方史研究会
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
新祖隆太郎方　TEL0824-44-2694
◇79　2009.8　B5　14p
江田氏系譜考　新祖隆太郎
三次監獄今昔(2)—大正・昭和編
瀬川　信二
瑤泉院の遺髪塔問題—中間報告
三次地方史研究会
世羅郡宇賀村の貢租関係文書につ
いて(3)　藤原　一三
三次地方の珍しい地名(13)　四拾
貫町(しじっかんちょう)／菅田
(すがた)

◆わが町三原　みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935
◇222　2009.9　B5　12p
今月の各地　須波の夏祭り—屋台
御輿42年振りに復活　坂井　吉徳
H21年度レキカン総会記念講演会
三原をめぐる武将たち(完結編)
—渋川氏・杉原氏を中心に　鈴木　健次
佐江崎鉱山史(3)
—幸崎町の鉱山調査記録　行長　啓三
◇223　2009.10　B5　12p
今月の各地
十月十三日という記憶　正田　公佑
中之町光谷の野井戸　山根　光博
秋の研修旅行ご案内
伊予地方の史跡を訪ねて　柏原　栄三
11年振りの「恵比寿岩」「大黒岩」
所替え　下西　勝彦
佐江崎鉱山史(4)
—幸崎町の鉱山調査記録　行長　啓三
◇224　2009.11　B5　12p
今月の各地　さざなみ線を救え！
マリンビュー　下西　勝彦
福島正則の改易と家臣の去就(1)　大谷　和弘
遺稿「小早川隆景公の遺徳を偲ん
で」(1)　元三原市長　桑木健
一(1910～1970)
佐江崎鉱山史(完結編)
—幸崎町の鉱山調査記録　行長　啓三

◆百日紅　長谷寺かわら版
〒772-0004徳島県鳴門市撫養町木津1037-1
TEL088-686-2450　www.chokokuji.jp
◇74　2009.8　A4　4p
過去帳の話(4)　さまざまな過去帳たち
◇75　2009.11　A4　4p
高野山参拝小史

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園　TEL088-668-3636
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇76　2009.9　A4　8p
企画展「生誕200年　守住貫魚」よ
り　貫魚の収集品
Culture Club　四国遍路の成り立
ちと弘法大師　長谷川賢二
平成20年度第2回企画展「生誕200
年　守住貫魚—御絵師・好古
家・帝室技芸員—」
Q＆A　古代の阿波や讃岐にいた
佐伯氏の役割や相互関係につい
て教えてください　高島　芳弘
野外博物館
秋だ！ひっつき虫を探せ！
情報ボックス　徳島県の迷蝶　大原　賢二

◆新居浜史談　新居浜郷土史談会
〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65
新居浜市生涯学習センター内
TEL0897-33-2991
◇377　2009.10　A5　37p　500円
京都ぶらり散歩　加地　和夫
神郷を知りたい会発足　真木　孝
語り伝えて　最も古い“道後温泉”
小野　清恒
四阪島(3)—煙害の発生から終結
藤田　二郎
系図の信頼性　小野　清恒
村堂住いの記
葬送に関わりて三十五年　喜代吉榮徳
○切支丹一件　『浦番所文書』
—西条市東予郷土館蔵　喜代吉榮徳

◆秦史談　秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283

松本紀郎方　℡088-875-6671
◇153　2009.10　B5　60p
江口君は清少納言？　広谷　雅子
民権ばあさん物語「馬とはちきん
さん」(4) 棟りょうの拾った男
久米生太子／藤本知子
大阪歴史紀行　広谷喜十郎
「秦史談」誌紹介(高知新聞)
海援隊士　石田英吉(1)　岩崎　義郎
空海の幼少期について　笹原　保博
チエリ抄(6)　永国淳哉／藤本知子
『噫！輸送船「富山丸」』をめぐって　永野美智子
「富山丸」の悲劇知って(高知新聞)
陶工柿右衛門　毛利　俊男
熊谷伝説と浄土信仰　広谷喜十郎
或る引揚者の手記から　松本　紀郎
澤田正二郎先祖墓地の清掃（高知
新聞）
澤田正二郎先祖墓所　拓本　岡村　庄造
沢正の「龍馬」　広谷喜十郎
「劇団若獅子」がやってくる　安東　美智
漂泊の名優　澤田正二郎
—故山に帰る青春　瀬戸　鉄男
澤田正二郎の『僕の土佐日記』を
読んで　松本　紀郎
「澤田正二郎展」「劇団若獅子公演」
ポスター
新国劇一行　澤正先祖の墓地に
（高知新聞）
毛利吉成墓(泰山)　拓本　岡村　庄造
毛利吉成　山本　泰三

九州・沖縄

◆福岡地方史研究
福岡地方史研究会（発売：海鳥社）
〒811-2113福岡県糟谷郡須恵町須恵820-2
石瀧豊美方　℡092-933-0426　年5000円
◇47　2009.8　A5　152p　1300円
絵葉書でたどる福岡の歴史(8)
旧福岡県庁の新館（福岡市中央
区天神）　石瀧　豊美
巻頭言
由比忠之進と由比章祐さん　石瀧　豊美
《特集　福岡・博多の近代化をめぐって》
特集にあたって
近代福博企業家における協調と対
立—河内卯兵衛と太田清蔵の事
例　永江　眞夫
香椎線に残存する博多湾鉄道時代
の橋梁　徳永　博文
福岡の玄関口のはじまり
博多駅、博多港、福岡空港　八尋　國臣
福岡警察署の新任巡査が見た明治
十年代の福岡・博多　近藤　典二
近代化に翔けた人間模様　古賀の
里の起業人と受け継がれる文化
渋田　喬
西郷・高杉会見説の虚実
明治期筑前人の叫び　力武　豊隆
福岡の街の近代化覚書　池田　善朗
研究ノート
黒田家の故郷　寺崎　幹洋
「迷子石」を考える　九州の例　副島　邦弘
江戸時代の志賀島・歴史余滴　折居　正勝
唐津藩主の前原宿泊　前原宿の
復元(2)　有田　和樹
貝原久兵衛(益軒)書翰に見る
「黒田家譜」　横田　武子
心光山大長寺と福岡藩黒田氏
福岡市中央区にある黒田如水
の両親を祀る寺　守友　隆
史料管見　ちょっと珍しい古文書
「郡庁記録」から　石瀧　豊美
歴史随想　鴻臚館址発見の謎　川本　一守
由比章祐氏追悼
由比章祐さんとの出会い　近藤　典二
由比章祐さんを悼む　有田　和樹
由比章祐氏主要著作目録
太宰府—筑紫野歴史散歩　竹川　克幸
雑誌探索(3)『産業組合時代』・
『福岡縣農會報』　首藤　卓茂
会員の本の紹介
第2回志賀島歴史シンポジウム報
告　古賀　偉郎
短信往来　川本一守／渋田喬／高嶋正武／
松岡博和／横田武子／力武豊隆

◆末盧国　松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
℡0955-73-3549　年2000円
◇179　2009.9　B5　20p
佐賀県重要文化財
木造薬師如来立像　志佐　惲彦
慶安の唐津代官小川氏行(2)　寺沢　光世
磯道遺跡調査の思い出　堀川　義英
伊勢崎の唐津城図(3)　宮崎　博司
「呼子カトリック教会」苦難の歴
史　金子　政則
松雲寺末寺「虎睡軒」跡地発見に
ついて　柳原　宗賢
侵略戦争を嫌った朝鮮出兵にみる
直江兼続(2)　熊本　典宏
松浦圏で唄い継がれた「釜ふたか
むせ」(2)—伊岐佐・故佐伯基
次氏のノートより採録　内田　清
馬渡島キリシタン史の検証　山田　洋
歴史豆知識　暦について　嶺川　隆敏

◆もやい 長崎人権・学
ＮＰＯ法人長崎人権研究所
〒850-0048長崎県長崎市上銭座町2-7
℡095-847-8690　年5000円　1980年創刊
homepage3.nifty.com/naga-humanrights/
◇59　2009.10　A5　94p
《長崎の部落史研究》
機関誌総目次／機関誌分類別目次
／機関誌著者別目次／蔵書目録
—長崎県関係

◆史料館研究紀要　大分県立先哲史料館
〒870-0814大分県大分市駄原587-1
1996年創刊
◇14　2009.6　A4　68+26p
府内藩浜之市に集う人々　神田　由築
大給府内藩と廣瀬家
—近説と旭荘の関係を中心に　大野　雅之
豊後国直入郡城後村の年貢割付状
について(2)　岡島　基信
「明治十四歳七月浦証文」
—有永家文書　川野　洋一
先哲史料館年報(平成20年度)／先
哲史料館要覧

◆宮崎県地域史研究　宮崎県地域史研究会
〒880-8520宮崎市船塚1-1-2　宮崎公立大学
大賀研究室気付　℡0985-20-2000
◇24　2009.10　B5　53p
三井家の発展と大名貸
—延岡藩牧野氏を事例として　大橋　毅顕
明治十年代地方制度改革における
名望家層の動向—宮崎県の分県
運動を事例とした地域意識の検
討　籾木　郁朗

◆アーカイブス　沖縄県公文書館だより
〒901-1105沖縄県島尻郡南風原町新川148-
3　℡098-888-3875
archives.pref.okinawa.jp
◇37　2009.8　A4　8p
公文書館企画展「オペレーショ
ン・レッドハット1971—沖縄を

ゆるがした毒ガス移送」を開催
している／アーカイブズフラ
ッシュ／知っていましたか？
軍雇用員カードは公文書館にあ
ります
特集　USCAR公安局文書
この人にききました
新城鐵太郎さん（最終回）
閲覧室Q＆A／沖縄県文書の受
入・公開について／地域資料の
収集について／これからの催し
物

◆**季刊 沖縄**　㈶沖縄協会
〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9
エー・ゼットキュウブビル５階
℡03-5803-2341
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇**37**（14-3･4）2009.10　A4　64p　300円
オバマ政権の外交政策と沖縄につ
いて　久保　文明
意識と呼吸が生み出す琉球古手の
秘技　宮城　隼夫
自治による沖縄県経済自立のため
の建白書　松島　泰勝
活動を通して考えること　堀川美智子
アマミキョの原像
—律令時代の阿麻弥人　小島　瓔禮
特集　沖縄青少年相談相手制度と
勉学支援事業
人・会のうごき／沖縄協会だより
／沖縄覚書

◆**竹富町史だより**　竹富町教育委員会
〒907-0012沖縄県石垣市美崎町16-6
℡0980-82-7220
◇**30**　2009.3　B5　24p
宮良高弘氏（札幌大学名誉教授）か
ら貴重な民俗資料の寄贈を受け
る
竹富町史編集委員会の動向
業務日誌—平成20年度竹富町史編
集室の動向
「万骨」の歴史顕彰を　西表・宇
多良炭鉱跡の「近代化産業遺産
群」認定に思う　三木　健
『竹富町史だより』目次一覧
平成20年度受贈図書一覧／沖縄県
率図書館八重山分館の存続につ
いての要請／編集後記

◆**法政大学沖縄文化研究所所報**
〒102-8160東京都千代田区富士見2-17-1
℡03-3264-9393
◇**65**　2009.9　A4　44p
「海南小記」を読む（7）—地の島　酒井　卯作
私の研究
戦後米軍統治下の奄美における
交易の展開—北緯30度線を中
心として　三上　絢子
琉球処分における明治政府の支
配の論理について　西　敦子
石垣島川平の儀礼における歌・
唱え言・発話の研究—川平で
の調査経過と今後の課題　澤井　真代
1948年の『弓張月』　香取久三子
書　評
高梨一美著『沖縄の「かみんち
ゅ」たち　女性祭司の世界』
（岩田書院、2009年）　福　寛美
深谷克己著『東アジアの政治支
配と近代』（有志舎、2009年）宮平　真弥
比屋根照夫著『明石ライブラリ
ー130　戦後沖縄の精神と思
想』（明石書店、2009年）　山下　靖子
林博史著『沖縄戦　強制された
「集団自決」』（吉川弘文館、
2009年）　細田亜津子
琉歌案内
恩納ナベってどんな人？　屋嘉　宗彦
報告　委嘱・会議・公開講演会・
研究会／2009年度寄贈図書／
比嘉政夫先生追悼（赤嶺政信）

◆**宮古郷土史研究会会報**
〒906-0007沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
42　県立図書館宮古分館内
℡09807-2-2317
◇**174**　2009.9　B5　8p
9月定例会レジュメ　宮古島の特
異な海岸地形（速報）　安谷屋　昭
10月定例会レジュメ　衣料素材で
ある繊維群中の麻類から宮古上
布ブー（苧麻）紡糸を探る　砂川　猛
「医療人」全分野への質疑—7月定
例会（近代医療）のあらまし　仲宗根將二
8月定例会のまとめ　与那覇勢頭
と廣瀬御嶽の祭神マッサビにつ
いて　下地　利幸
第33回「郷土史講座」を開催
県立図書館宮古分館
市民フォーラム
新しい図書館を考える　砂川　幸夫
第四回市民総合文化祭
下地地区中心の史跡めぐり　事　務　局
戦中資料紹介
軍隊中隊内情報紙『野原岳』　仲宗根將二
◇**175**　2009.11　B5　8p
11月定例会レジュメ　宮古島民ら
虐殺事件について—何故殺され
ねばならなかったのか？　下地　和宏
12月定例会レジュメ「朝鮮済州
島人漂流史料」について　事　務　局
9月定例会の報告　宮古島の特異
な海岸地形（速報）　砂川　猛
「宮古の神歌の世界」講演
西原と佐良浜でシンポジウム　仲宗根將二
卒論紹介　調理法からみた先島諸
島の先史時代—土器による調理
と石蒸し焼き調理　下地　和宏
開館20周年記念第11回企画展　宮
古生まれの奇才　漫画家下川凹
天　下地　和宏
第8回クイチャーフェスティバル
雨模様の中、33団体が歌い踊り
共演
第4回なりやまあやぐまつり　満
月のイムギャーにあやぐの音色
第9回伊良部トーガニまつり　天
候不順のため公民館／市民総合
文化祭・史跡めぐり中止
『戦場の宮古島と「慰安所」』—筆
舌に尽く難い実態…（報告）　仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆**鹽尻**—神道関係抄続　大神宮文庫12
天野信景著　太田正弘編　東京大神宮社務所
（〒102-0071　東京都千代田区富士見2-4-1
℡03-3262-3566）2009年10月　新書判　167頁
天野信景の随筆『鹽尻』内閣文庫所蔵100巻
100冊本より神道・神社関係の記事を抽出し
た大神宮文庫11に引き続き、「名古屋叢書」
所収の『鹽尻拾遺』などの諸本から内閣文庫
本には見えない記事を集めた続編。
◆**地域資料の収集と保存**—たましん地域文化
財団歴史資料室の場合　多摩デポブックレ
ット2
保坂一房著　けやき出版（〒190-0023　東京
都立川市柴崎町3-9-6　高野ビル１階　℡042-
525-9909）2009年9月　A5　56頁　600円
2008年9月14日に開催された特定非営利活動

法人　共同保存図書館・多摩（多摩デポ）の第１回多摩デポ講座の記録集である。たましん地域文化財団設立の経緯／『多摩のあゆみ』の創刊／歴史資料室の所蔵資料／『多摩のあゆみ』の編集／財団ＨＰの情報発信／おわりに／質疑応答／まとめ（平山惠三）

◆佛日寺東禪寺　最初のイギリス公使館跡に係る現況確認調査報告書

港区教育委員会事務局図書・文化財課文化財係編　港区教育委員会（〒108-0014　東京都港区芝5-28-4　港区立港郷土資料館　℡03-3452-4966）2009年9月　A4　55頁

安政6年（1859）にイギリス公使館が置かれた仏日山東禪寺。本書は今も残る当時の遺構などの現況確認調査報告書である。調査に至る経緯及び目的／東禪寺の歴史的概略（東禪寺の成立と展開、幕末の東禪寺、イギリス公使館としての東禪寺）／東禪寺の建築（境内の現況、僊源寺、大名家の江戸菩提寺における「御茶屋」）／東禪寺の庭園／調査の成果

◆月江寺展—富士北麓　禅の美術

富士吉田市歴史民俗博物館編（〒403-0005　山梨県富士吉田市上吉田288-1　℡0555-24-2411）　富士吉田市教育委員会刊　2009年9月　A4　79頁

応永2年（1395）開創とされる富士吉田市内最大の臨済宗寺院　月江寺の開山絶学祖能の五八〇遠忌を記念して、貴重な絵画・彫刻作品や富士信仰資料を多数紹介する企画展の図録。頂相と肖像彫刻／仏像／仏画／富士信仰と月江寺／古地図と古文書／月江寺の歴史と美術（高橋晶子）／資料解説

◆歴史研究 ひろ

小栗康治著（〒737-0102　広島県呉市広徳丸町2-13　℡0823-71-6754）2009年9月　B5　182頁　1200円

広の地形と「ひろ」地名の由来研究／広町塩焼地名についての一考察／中世安芸国東西条の広と阿賀の関係について／戦国時代末期文書にみる広と呉衆／広村大新開築調経過研究／元禄十三年広大新開地詰帳／広の祭りのうつりかわり／広近郷の祭り笛曲／広のむかしばなし（広の甚太郎としゃーしゃろべーぼ、お芳ガ淵伝説、にがい桃と弘法水、鍬投げ淵、小滝恵現寺観音縁起）／「神社御由緒綴」、「神社明細帳」広村初崎・船津神社社務所／長浜入江神社由緒碑／小坪八幡宮縁起

◆後記

本年３月末をもって明治大学を定年退職致しました。在職中のご厚誼に感謝致しますと共に、今後とも、「地方史情報」と『地方史文献年鑑』にご支援をお願い申し上げます。その明治大学は近年、社会貢献（連携）を重点施策の一つに掲げています。それは図書館を市民の利用に供するといったことに止まるものではなく、大学が創生した知的財産を広く社会に開放して、より良い時代を築いていくことに貢献するところに本旨があります。本号収録の神戸大学大学院人文科学研究地域連携センター年報「LINK」の創刊特集は、歴史文化の視点から、「地域の自律的な動向の存在」を前提として、大学と地域が双方向でどのように関わりあえるのか、大学はどのような役割を果たすべきなのかを提起したものです。市民の皆さんも、大学を自分たちのものとして大いに活用して欲しいと思います。明治大学では先頃、川崎市の生田キャンパスに残されていた旧陸軍登戸研究所（第九陸軍技術研究所）施設を、市民の長い保存運動を受け、明治大学平和教育登戸研究所資料館として、一般に公開しました。市民と大学が一体となって、平和な社会を構築する礎になってくれることを期待しています。　（飯澤）

地方史情報 097　2010年（平成21年）５月　発行　http://www.iwata-shoin.co.jp
定価0円（送料90円）年間購読料 税込1000円（送料として）振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院　〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103　℡03-3326-3757